
平成 24 年度
佐渡市教育委員会

佐渡学センター年報

第 4 号

この年報の著作権は佐渡市教育委員会に帰属します。ただし、画像などは、所有者や執筆者に著作権があるものがあります。著作権法上の「私的利用」や「引用」の範囲を超えて使用する場合には、佐渡学センターまでお問い合わせください。ただし、掲載資料の使用に際して発生した障害には、佐渡市教育委員会は一切の責任を負いません。

刊行にあたって

佐渡学センター 所長 渡邊 剛 忠

平成 24 年度の佐渡学センター年報が刊行されました。年度末の 3 月、第 2 回佐渡市博物館協議会が開催され、全委員が出席のもと意見が交わされました。

会議では、新しい視点の企画展などの必要性が指摘されていました。その意味において本年度実施された 2 つの企画展に注目してみたいと思います。

1 つは 佐渡市合併 10 周年記念 佐渡博物館・両津郷土博物館合同企画展

新春特別展「佐渡市所蔵お宝展」

開催期間：平成 25 年 1 月 1 日（両津博は 4 日）
～ 3 月 10 日

です。

佐渡市役所の各庁舎と施設には、かつての 10 か市町村時代に市民の皆さんや関係者から寄贈された、あるいは購入した美術工芸品の作品や資料などがたくさん保管されています。一部は展示され、公開されているものの、ほとんどがしまい込まれたままでした。

保管されている市役所の美術工芸品をすべて調査・記載し、その一部を（財）佐渡博物館と市立両津郷土博物館の 2 会場で展示をしました。共通の入場券で入館できたこともあって、冬期の企画展としては多数の入場者があり、市民の皆さんも改めて市役所が身近に実感されたのではと思います。

他の 1 つは

越後国域確定 1300 年記念企画展

「発掘された佐渡」

開催期間：平成 24 年 6 月 1 日～ 10 月 10 日

会場：新穂歴史民俗資料館

主催：佐渡市世界遺産推進課・佐渡市教育委員会
です。

越後国域確定 1300 年記念講演会が、佐渡市ト

キのむら元気館で行われたことに合わせて、近接する新穂歴史民俗資料館で開催されたものです。律令制の下で佐渡国が設置された時期を理解する遺跡として、佐渡国分寺跡・下国府遺跡・小泊窯跡群の写真パネルや出土品を展示し、最近行われた発掘調査の成果も出土品と共に公開されました。

いずれも担当部署を超えた企画展でした。これまでもこうした企画展の必要性が望まれていましたが実現ができませんでした。いま、佐渡市は施策として世界に向けた事業を積極的に推進しています。かつて、博物館業務に携わってきた学芸員の皆さんがそれぞれの事業に携わり、自然や歴史・文化の調査・研究にあたっています。今、そうした皆さんと連携し、また、大学・研究機関・他の博物館や地域の関係の皆さんと連携を図るなど、広く部署を超える博物館の運営や企画展が求められています。

博物館の本来の「集めて、伝える」という基本的な活動に加えて、佐渡の多様で豊かな自然や、歴史・文化（佐渡学）を子供たちや市民、来館者の皆さんと共に、五感を通して楽しく学び合える、そんな博物館の運営を目指していきたいものです。第 2 回佐渡市博物館協議会で委員の皆さんの意見を伺いながら、考えを巡らせていました。

24 年度も年度計画に基づいて、それぞれの事業が推進されました。年に 3 回刊行された佐渡学センターだよりも定着し、佐渡学の話題や折々の情報、そして職員の活動状況などを興味深く伝えさせていただきました。

終わりにあたり、平成 24 年度佐渡学センター年報の刊行にご尽力いただいた皆さんに心から感謝申し上げます。

目次 Contents

刊行にあたって

I 佐渡学センター設置までの経緯	… 1
II 管理運営の状況	
1 組織	… 3
2 施設の状況等	… 4
3 平成 24 年度入館者の状況	… 9
III 事業内容	
1 文化・学芸事業内容	… 10
1.1 常設展示	
1.2 企画展示	
1.3 収集保管事業	
1.4 調査研究事業	
1.5 支援、助成事業	
1.6 新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定事業	
1.7 新潟大学図書館との連携協定事業	
1.8 刊行物	
1.9 イベント	
1.10 その他（キャンペーン協賛）	
2 交流普及事業概要	… 19
2.1 視察・団体受入れ状況	
2.2 出前授業・講演等	
3 職場体験	… 20
4 学芸員実習受入れ	… 20
IV 関係団体	
1 佐渡市博物館協議会	… 21
2 佐渡植物園協議会	… 21
V 日誌抄	… 22
VI 所員による業務上の調査・研究報告	… 27
VII 佐渡に関する図書・論文 平成 24（2012）年分	… 39

編集後記

I 佐渡学センター設置までの経緯

1 沿革

【平成 16 年度】

佐渡伝統文化研究所を設立することを佐渡市長が表明する。

【平成 17 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会生涯学習課に設置した。

準備室室長 木下 勉
情報指導員 池田 雄彦
準備室係長 北見 継仁
主 事 山口 忠明
主 事 渡邊 智美

佐渡市長の平成 17 年度『施政方針』で、「研究所の基本理念」として、「佐渡の歴史と文化を再認識し、有形無形の歴史・文化資産を保護継承し、子々孫々まで残していくことは現代に生きる私たちの責務であると考えます。そのため、島内の研究者や伝統技術・技能の伝承者を集め、貴重な資料の散逸を防ぎ、専門の研究機関を設置することで、各地に残る貴重な資産・資料把握、保存整理研究が行える『佐渡伝統文化研究所』（仮称）の設立を行い伝統文化の継承に努めます。」と表明する。

【平成 18 年度】

佐渡伝統文化研究所準備室を佐渡市教育委員会文化振興課内に設置した。

準備室室長 菊池 克己
情報指導員 池田 雄彦
準備室係長 北見 継仁
主 事 鹿取 渉

【平成 19 年度】

佐渡伝統文化研究所を佐渡市教育委員会世界遺産・文化振興課内に設置した。設置場所は、梅津の佐渡市中央公民館から両津湊の佐渡市役

所両津支所 3 階に移動する。

所 長 石瀬 佳弘
次 長 高藤一郎平
情報指導員 池田 雄彦
係 長 北見 継仁
主 事 滝川 邦彦

設立趣旨を、「佐渡は、古くから島外の文化を受け入れながら島独自の文化を形成し、貴重な民俗芸能や伝統的な行事なども継承されている。また、多様な地形や植生・地質など、自然環境にも恵まれている。このような文化遺産や自然環境は島内外の人々にとって大きな魅力となっているが、十分な調査や保存が行われているとは言えない状況にあった。

このような貴重な文化遺産の価値を島民に十分理解してもらい、その調査と保存・活用を図るべく、佐渡伝統文化研究所準備室を設置してその任に当たって来た。本年度から本格的に活動を目指して正式な『佐渡伝統文化研究所』を設立した。今後は、貴重な資料の散逸を防ぎ、データを集積して広く情報を発信しながら島民の皆さんは勿論、佐渡を訪れる多くの方々に利用して頂けるように務めたいと考えている。」として掲げ、活動を開始した。

【平成 20 年度】

重点施策として、「佐渡伝統文化研究所の体制づくりの推進及び佐渡の歴史・文化・自然に関する調査・研究とデータベース化、デジタルアーカイブ化の構築」とした。

所 長 石瀬 佳弘
次 長 北見 継仁
情報指導員 池田 雄彦
主 事 滝川 邦彦
研究員補助 八木千恵子

【平成 21 年度】

研究所の機能を拡充強化することによって、地域学の拠点化を図るために、本年度から「佐渡伝統文化研究所」の名称を「佐渡学センター」に改称し、組織体制として新たに文化・学芸係を置き、佐渡島内の博物館・資料館管理運営及び学芸業務も統合した。また事務所も両津郷土博物館内に設置した。

【重点施策】

- 伝統芸能を始め、歴史・文化遺産の保存、継承、活用は、重要な課題であり、平成 21 年度は市民と協力して、基本方針となる文化振興ビジョン策定に取り組む。
- 伝統と魅力ある地域文化の保存・継承を目的として、佐渡の歴史・文化・自然等に関する研究や情報発信、資料のデータベース化を行う。
- 地形や地質など自然遺産が豊富な島である「佐渡」を、国内はもとより広く世界に紹介できるよう、大学等の関係機関との連携を図りながら、ジオパークとして世界認定を受けるための準備を進める。

所 長	石瀬 佳弘
次 長	北見 継仁
情報指導員	池田 雄彦
文化・学芸係長	野口 敏樹
主 事	山口 忠明
主 事	宇治 美徳
主 事	須藤 洋行
主 事	滝川 邦彦

【平成 22 年度】

【重点施策】

- 佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。

- 伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。
- ジオパーク認定を目指した取り組みを進める。
- 新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

所 長	渡邊 剛忠
次 長	北見 継仁
情報指導員	池田 雄彦
文化・学芸係長	野口 敏樹
主 事	山口 忠明
主 事	須藤 洋行
主 事	滝川 邦彦

【平成 23 年度】

【重点施策】

- 佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。
- 伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。
- 新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

所 長	渡邊 剛忠
次 長	本間 俊一郎
情報指導員	池田 雄彦
文化学芸係長	野口 敏樹
主 任	滝川 邦彦
主 任	須藤 洋行
主 事	山口 忠明
雇 員	本間 裕亨（研究員補助員）

II 管理運営の状況

【佐渡学センター運営方針】

- ・佐渡の歴史・文化・自然等に関する調査・研究及び情報収集を行うとともに、その成果をデジタルアーカイブ化し、ホームページや報告書等の刊行及びシンポジウム等の開催による情報発信を、博物館・資料館と協働しながら行う。
- ・伝統芸能活動支援として、能楽体験学習、後継者育成事業、特別活動支援等の補助事業を行う。
- ・新潟大学人文学部等との協働事業を推進する。

【博物館・資料館（文化学芸係）運営方針】

- ・佐渡の歴史・文化・自然に関するレファレンス業務の推進と博物館・資料館所蔵品のデータベース化を進める。
- ・特別展、企画展の開催と講座・教室・講習会の拡充を図る。
- ・博物館・資料館の統合再編を進め、より充実した体制による振興を図る。

◎調査研究事業

佐渡島内に所在する有形・無形の文化財の調査・研究を行い、その成果を情報発信する。

◎伝統文化等保存支援事業（補助事業）

佐渡島内の伝承されている伝統芸能等の後継者・保持団体等の活動にたいして補助事業等を実施し、伝統文化の継承・育成・保存を図る。

◎博物館管理運営事業

◎歴史・民俗資料館管理運営事業

それぞれの博物館・資料館が特徴をいかりながら連携し、佐渡の歴史・文化・自然を広く市民・研究者・観光客に紹介し、情報発信を行う。

◎佐渡の歴史・文化・自然に関するレファレンス業務

◎新潟大学人文学部関連事業

平成 22 年に連携協定を結んだ新潟大学人文学部等との協働事業を進め、その成果の情報発信を行う。

1 組 織

所 長	渡邊 剛忠
次 長	本間 俊一郎
学芸専門員	北見 継仁
情報指導員	池田 雄彦
文化学芸係長	野口 敏樹
主 任	滝川 邦彦
主 任	須藤 洋行
主 事	山口 忠明
雇 員	本間 裕亨（研究員補助員）
雇 員	宇田美智子（相川郷土博物館）
雇 員	佐々木妙子（佐渡国小木民俗博物館）
雇 員	渡辺 啓子（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	河村 厚子（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	齋藤 鈴香（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	山本 淳子（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	星 宏明（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	佐々木加世子（史跡佐渡奉行所跡）
雇 員	佐々木さゆり（相川技能伝承展示館）
雇 員	山本加奈子（相川技能伝承展示館）
雇 員	山本 悦子（相川技能伝承展示館）
雇 員	小杉 栄枝（相川技能伝承展示館）
雇 員	米津サチエ（相川技能伝承展示館）
雇 員	中村 政春（佐渡国小木民俗博物館）

2 施設の状況等

2.1 両津郷土博物館

事業名 社会教育施設等整備費補助金

建設年度 昭和56年度



2.1.1 施設概要

場 所 佐渡市秋津1596

敷地面積 49,590㎡

建築面積 1,373.59㎡

構造・階数 鉄筋コンクリート造2階建、地下1階

駐車場 約50台

2.1.2 総事業費

515,912千円

2.2 相川郷土博物館

事業名 相川小学校80周年記念事業

開館年度 昭和31年度



2.2.1 施設概要

場 所 佐渡市相川坂下町20

敷地面積 (総面積) 3,150㎡

建築面積 (総面積) 1,055.16㎡

構造・階数 木造平屋建(一部2階建)

御料局佐渡支庁跡(2階建) 172.24㎡

展示室(1階) 244.89㎡

特別展示室・準備室 84.60㎡

事務室ほかその他 117.19㎡

有田八郎記念館 116.76㎡

収蔵庫 198.00㎡

名誉町民資料館 55.48㎡

駐車場 伝承館と共用 約20台

2.2.2 総事業費

不明

備考 明治22年建築。相川小学校80周年記念事業として収集した歴史・鉱山・民俗資料を、鉱山縮小によって空いた鉱山事務所を利用して郷土博物館として昭和31年7月に開館した。

2.3 相川文書館

建設年度 昭和51年度(移築)



2.3.1 施設概要

場 所 佐渡市相川坂下町20
(相川郷土博物館敷地内)

建築面積 66㎡

構造・階数 木造平屋建

駐車場 伝承館と共用 約20台

2.3.2 総事業費

移築費 4,000千円

備考 大正2年に「相川銀行」の行舎として、羽田町に建てられた。その後第四銀行合併を経て、相川町に寄附され、昭和51年に相川文書館として現在の場所に移築された。

2.4 相川技能伝承展示館

事業名 地域バイタリティ育成事業全体計画

建設年度 昭和60～61年度



2.4.1 施設概要

場 所 佐渡市相川北沢町2番地

敷地面積 2,271㎡

建築面積 712.17㎡

構造・階数 鉄筋平屋建（一部2階建）

陶芸実習室 109.31㎡

裂織り実習室 93.57㎡

資料展示室 109.31㎡

窯小屋・登り窯 49.68㎡

工房 102.69㎡

ホール 137.75㎡

事務室ほかその他 109.86㎡

駐車場 伝承館と共用 約20台

2.4.2 総事業費

81,532千円

2.5 史跡佐渡奉行所跡

事業名 佐渡金山遺跡佐渡奉行所保存整備事業

建設年度 平成7～18年度



2.5.1 施設概要

場 所 佐渡市相川広間町1番地1

敷地面積 18,542㎡

建築面積 1,541.6㎡

構造・階数 木造平屋建

御物見 34.7㎡

御役所 990.0㎡

御門番所 32.0㎡

御普請方役所 140.4㎡

勝場 344.5㎡

駐車場 約20台

2.5.2 総事業費

2,387,984千円

2.6 佐渡国小木民俗博物館

2.6.1 佐渡国小木民俗博物館（旧館）



2.6.1.1 施設概要

場 所 佐渡市宿根木270-2

敷地面積 （総面積）11,192㎡

（旧館）9868.96㎡

建築面積

延床面積 2,930㎡

構造・階数 木造平屋建て

駐車場 10台

2.6.1.2 総事業費

19万円

備 考 大正9年に建てられた木造校舎をそのまま
利用し、昭和47年6月に開館した博物館。

2.6.2 佐渡国小木民俗博物館（新館）

事業名 農村地域農業構造改善事業
（自然活用型）
建設年度 昭和56～59年度



2.6.2.1 施設概要

場 所 佐渡市宿根木
敷地面積
建築面積 627.52㎡
延床面積
構造・階数 鉄筋コンクリート平屋建て
駐車場 旧館と共用 10台

2.6.2.2 総事業費

87,194千円

2.7 千石船展示館

事業名 山村振興等農林漁業特別対策事業
建設年度 平成8～9年度



2.7.1 施設概要

場 所 佐渡市宿根木
敷地面積
建築面積 695.52㎡
延床面積
構造・階数 木造平屋建て

駐車場

2.7.2 総事業費

135,366千円

2.8 海運資料館

（南佐渡離島開発総合センター内2F）

事業名 離島開発総合センター建設事業
建設年度 昭和54～55年度

2.8.1 施設概要

場 所 佐渡市小木町1941-1
敷地面積 1428㎡
建築面積 1616.13㎡
延床面積 500㎡
構造・階数 鉄筋コンクリート3階建て



（一部中4階）

駐車場 10台

2.8.2 総事業費

236,199千円

備考 平成22年度から佐渡考古資料館の資料も加えリニューアルオープンした。

2.9 幸丸展示館

事業名 日本宝くじ協会助成事業、町づくり特別対策事業

建設年度 昭和59年度

2.9.1 施設概要

場 所 佐渡市小木町1941-1
敷地面積 1837㎡
建築面積 303.65㎡
延床面積 206㎡



構造・階数 鉄骨造り 1 棟
駐車場

2.9.2 総事業費
52,000 千円

2.10 佐渡植物園

建設年度 昭和 23 年度



2.10.1 施設概要

場 所 佐渡市羽茂飯岡 550-6
敷地面積 59,671 m² (施設概要より)
※ (総面積) 65,040 m²

建築面積

(管理棟) 35 m²
(作業棟) 19.87 m²
(温 室) 58.32 m²

延床面積 55 m²

構造・階数 鉄骨造り 1 棟

駐車場

2.10.2 総事業費
不 明

2.11 新穂歴史民俗資料館

建設年度 昭和 62 年度



2.11.1 施設概要

場 所 佐渡市新穂瓜生屋 492
敷地面積 2,348 m²
建築面積 922 m²
構造・階数 鉄筋コンクリート造 2 階建
駐車場

2.11.2 総事業費

250,094 千円

2.12 金井歴史民俗資料収蔵庫

事業名 国宝重要文化財等保存施設整備費補助金
(国)、文化保存事業費補助金 (県)

建設年度 昭和 50 年度

2.12.1 施設概要

場 所 佐渡市泉甲 375-1
敷地面積 約 2,000 m²
建築面積 収蔵庫 144 m²
展示館 136 m²
構造・階数 鉄筋コンクリート造平屋建
駐車場



2.12.2 総事業費

15,010 千円

2.13 明治記念堂（開導館）

建設年度 明治 35 年度



2.13.1 施設概要

場 所 佐渡市千種丙 1 5 4

敷地面積 1,055.2㎡

建築面積 72.24㎡

構造・階数 木造平屋建

2.13.2 総事業費

明治記念堂 不明

開導館 4,100 千円（昭和 50 年復原）

3 平成 24 年度入館者の状況

	両津郷土博物館	相川郷土博物館	相川技能伝承展示館	史跡佐渡奉行所跡	佐渡国小木民俗博物館	海運資料館	新穂歴史民俗資料館	金井歴史民俗資料収蔵庫	赤泊郷土資料館	(佐渡植物園)	総計
4月	194	405	313	1,139	717	58	171	0	12	350	3,009
5月	459	633	791	2,266	1,739	115	267	0	25	450	6,295
6月	311	2,807	2,910	4,161	2,920	125	302	0	25	460	13,561
7月	353	1,026	1,153	2,936	3,412	328	212	0	31	350	9,451
8月	689	477	648	3,035	4,030	383	220	0	72	240	9,554
9月	350	510	618	1,734	1,645	205	589	0	40	220	5,691
10月	296	286	152	1,829	1,735	161	677	0	33	240	5,169
11月	137	71	33	709	704	76	278	0	7	150	2,015
12月	20	7	9	74	86	3	0	0	0	50	199
1月	227	3	42	91	35	5	0	0	1	50	404
2月	480	88	144	51	31	2	46	0	1	50	843
3月	118	89	131	382	165	11	184	0	7	250	1,087
入館者 年度計	3,634	6,402	6,944	18,407	17,219	1,472	2,946	0	254	2,860	57,278

※総計には、佐渡植物園入場者を含まず。

平成 16年度	2,772	4,497	7,844	26,317	20,523	1,477	2,801	263	594		67,088
平成 17年度	3,021	4,354	7,535	25,690	19,902	1,309	2,308	315	812		65,246
平成 18年度	3,086	3,599	6,800	29,195	18,247	1,363	2,607	153	493		65,543
平成 19年度	2,681	2,755	6,239	22,880	17,334	1,413	2,944	176	414		56,836
平成 20年度	3,162	4,925	6,279	20,648	15,038	1,106	3,445	123	282		55,362
平成 21年度	1,838	5,883	5,609	22,105	19,136	1,237	2,859	0	313	4,360	63,677
平成 22年度	2,482	6,134	5,890	20,224	18,338	1,241	2,314	74	189	3,650	56,886
平成 23年度	2,406	6,893	6,793	19,077	16,957	1,513	2,942	0	168	2,830	56,749
平成 24年度	3,634	6,402	6,944	18,407	17,219	1,472	2,946	0	254	2,860	57,278

Ⅲ 事業内容

1 文化・学芸事業内容

1.1 常設展示

1.1.1 両津郷土博物館

1.1.1.1 事業趣旨

昭和53年に制定された「加茂湖総合開発計画」により、湖に半島となって突き出た樹崎一帯が「レクリエーション保存地区」として位置づけられた。そのなかで、市民の憩いの場、また、生涯教育の一拠点として、昭和57年に博物館が開館した。メインテーマは「島のくらしと文化」としており、漁撈用具などの民俗資料を中心に3万点以上の資料が収蔵されている。

1.1.1.2 展示構成

常設展示は、それぞれ「海」、「くらしと木」、「祭」をテーマとした、第1～第3展示室で構成されている。民俗資料を中心に歴史資料がそれを補完する形での展示を行っている。

また、エントランスでの新収蔵資料の展示や特別展示室を利用した企画展示を随時行っている。

1.1.1.3 常設展示の保守点検・補修

生涯学習施設、また市民の憩いの場として、館内外及び周辺的美観を維持管理するため、保守点検・補修を行っている。

1.1.1.4 資料展示替え

特になし。

1.1.1.5 企画展示

「新寄贈資料公開展 佐渡を見つめた二人 ～本間寅雄と持田千秋～」を平成24年4月1日（日）～8月16日（木）に、「県指定文化財公開展 北条家医学関係資料 流人の医師 北條道益」を平成24年9月1日（土）～12月11日（火）に開催し、寄贈を受けた資料を中心に展示した。

平成25年1月4日（金）～3月10日（日）には「佐渡市合併10周年記念 佐渡博物館・両津郷土博物館合同企画展 新春特別展 佐渡市所蔵お宝展」を開催し、佐渡市役所各庁舎・施設に所蔵されている美術

工芸品を展示した。

いずれも2階の特別展示室で実施した。

1.1.2 相川郷土博物館

1.1.2.1 事業趣旨

御料局佐渡支庁跡に三菱佐渡鉱山の所長室及び本部事務室として建築され、鉱山の大幅縮小に伴い鉱山資料と共に三菱より旧相川町へ譲渡され、昭和31年に博物館として開館した。資料展示は主に鉱山資料を中心に約800点を展示している。鉱山以外の資料として、「佐渡海府の紡織用具と製品」（国指定重要有形民俗文化財）がある。

1.1.2.2 展示構成

相川地区は金銀山と共に生きてきた地域であり、鉱山に関係した資料を展示し、そのほか考古資料や遊女関連資料、終戦時に外務大臣を務めた有田八郎氏の資料を展示したコーナーがある。

体験コーナーとして水上輪すいしやうりんを設置し、実際に回して鉱山労働の厳しさと、当時の技術を体感できる。

1.1.2.3 順路案内

建物本体が博物館として建築されたものでないため、スムーズに展示物の見学ができるようになっていない。そのため巡回するようにすることができないため、案内看板を設置し、受付でも説明するようにしている。

1.1.2.4 常設展示の保守

敷地内や建物の一部が国指定史跡となっていることから、史跡保存のため周辺的美観等の維持を中心に行っている。また、建物が古いため、建物の補修や来館者の安全に対して保守点検を随時実施し、平成24年度は周辺の草刈りと軽微な建物補修、消防用設備等総合点検を実施した。

1.1.2.5 展示資料替

佐渡博物館で開催している佐渡金銀山展に展示物・収蔵物を出展しているため、代替え品として鉱山機械の木型等を展示している。

1.1.2.6 企画展示

相川出身で江戸時代の絵師「石江夏海・石井文海親子」の資料を特別展示室で公開している。

公開にあわせて資料を再調査・デジタル化し、複製を中心に展示している。

1.1.3 相川文書館

1.1.3.1 事業趣旨

昭和45年から始まった町史編纂事業であるが、博物館が非常に手狭なため、昭和48年に旧第四銀行相川支店（大正2年建築）を改築する際に旧相川町へ建物を譲渡してもらい、昭和50年に完全移築し、町史編纂の作業とその資料の公開を目的として開館した。

1.1.3.2 展示構成

基本的に展示物はなく、町史編纂時の貴重資料が保管管理されている。

1.1.3.3 常設展示の保守

相川郷土博物館と一体のものとして、保守管理に含めている。

1.1.3.4 展示資料替

収蔵されている貴重資料の台帳を現在作成している。

1.1.4 相川技能伝承展示館

1.1.4.1 事業趣旨

地域バイタリティー育成事業を活用して、地域の歴史や伝統技術の学習機会を拡大するため、一般・児童・生徒・学生を対象とした陶芸実習や裂き織り体験の受入を主目的に昭和61年に開館した。

1.1.4.2 展示構成

展示室では島内の窯元・裂き織り愛好者の作品を集めて展示している。また、体験学習のメニューにはないが、文弥人形も展示している。裂き織りについては裂き織り実習室が自由に出入りでき、見学できるようになっている。

1.1.4.3 常設展示の保守

体験設備として作業する建物であることから、機器

の整備や安全管理を常に行い、特に窯での陶芸作品焼成等があるため火災に対する注意喚起を徹底しており、毎年消防用設備等総合点検を実施している。

1.1.4.4 展示資料替

展示している陶芸作品は寄託品で、窯元から変更の依頼があった場合に作品を変更している。

また、裂き織り作品販売コーナーに隣接して、商品サンプル的な陶芸作品を展示するスペースを設けて、出品している。

1.1.5 史跡佐渡奉行所跡

1.1.5.1 事業趣旨

平成6年度に佐渡金山遺跡（佐渡奉行所跡）が国の史跡として指定されたことを受け、平成13年度に「御役所」建物を江戸期の技術で復元公開し、平成16年度には金銀山のガイダンス施設となる「勝場」の公開を開始した。

1.1.5.2 展示構成

基本的に当時の技術で復元した建物を来館者に体感してもらう形であり、御役所内を説明員が案内している。ガイダンス施設である勝場では発掘調査で出土した遺物や、絵巻物などの資料を展示し、当時の選鉱作業の設備を復元し、実際に鉱山臼を回す体験を行っている。施設の活用を図るため、地域イベントである「佐渡國相川ひなまつり・お茶会」「宵の舞」「鉱山祭り」の会場として開放している。

1.1.5.3 順路案内

建物本体が当時の復元として建築されたため、建物内に矢印などの巡回案内を設置し、説明員がつくようにしている。

1.1.5.4 常設展示の保守

当時の建物を復元したため、建物内での火気は厳禁であり、照明も最低限度の設置としている。機器の整備や安全管理を常に行い、特に火災に対する注意喚起を徹底しており、毎年消防用設備等総合点検を実施している。

1.1.6 佐渡国小木民俗博物館

1.1.6.1 事業趣旨

大正9年に建てられた木造校舎をそのまま利用して、昭和47年6月に開館した博物館。館内には主に民俗資料を展示。その数30,000点余り。うち「南佐渡の漁撈用具 1,293点」「船大工道具 1,034点」は国の重要有形民俗文化財に指定されている。千石船展示館には、安政5年（1858年）に宿根木で建造された「幸栄丸」を当時の板図（設計図）をもとにし実物大で復元した「白山丸」が展示されている。

1.1.6.2 展示構成

旧館には、「衣」「信仰」「陶器」をテーマにした展示室のほか、昔の生活道具を展示している大型展示室がある。新館には南佐渡の漁撈具や農具などを展示。そして、千石船展示館には、全長23.75mの白山丸を展示しており船内の見学もできる。

1.1.6.3 順路案内

旧館と展示館は通路でつながっているが、新館は離れている。そのため新館を観覧せずに退館してしまう入館者も見られたので、観覧順路図を作成し受付にて配布した。また、外国から訪れた入館者も多いため、裏面には英語表記で順路を示した。

1.1.6.4 常設展示の保守点検・補修

市民の文化的・学術的活動を支援につなげるため館内と周辺的美観等を維持し、また、来館者の安全の確保を目的に常設展示室の保守点検・軽微補修、照明機器の補修・補充等を行っている。

24年度は、4～9月までに博物館周辺の草刈りを6回、樹木の剪定を12月にそれぞれ行った。消防用設備等総合点検は2回行い、照明器具については定期的に館員が点検し迅速な処理を行っている。

1.1.6.5 資料展示替

特になし

1.1.7 海運資料館

1.1.7.1 事業趣旨

この資料館では、郷土共通の課題「海運」と、住民

のくらしとの係わり合いを資料展示している。

また、発掘調査によって明らかとなった長者ヶ平遺跡を中心に考古資料を展示している。かつては海を介して運ばれた縄文土器や黒曜石などの資料をとおりて海上交易が盛んであった古代の海運を紹介している。

1.1.7.2 展示構成

文化、芸能と人との係り、小木港が大きな役割を果たした金銀輸送のみち、船絵馬、旧小木町が日本一の生産地であった船ダンス、和船に使用された用具、西回り航路による流れ、近世の汽船時代コーナー等をわかりやすく展示。

また、国指定史跡である長者ヶ平遺跡の出土遺物を中心に展示している。

1.1.7.3 資料展示替

特になし

1.1.8 幸丸展示館

1.1.8.1 事業趣旨

近世までの日本海は、表日本であった。経済発展を支えた海上交通は、小木港から対岸である越後へも往来を繰り返した。小木一寺泊間を結んだ現存する佐渡海峡最後の木造和船である「幸丸」を港湾区域内に展示することにより、かつての小木港の歴史を偲ぶと共に小木一寺泊との歴史や人と物との交流の足跡を物語るシンボルとして保存している。

1.1.8.2 展示構成

18m×24mの吹き抜けの展示館内には、船主であった長谷川正作氏の計画により、航海中にいかなる船も優先した「右舷開き」と呼ばれる帆形を再現して展示を行っている。また、展示館前庭には、案内看板の解説や天然記念物および名勝「佐渡小木海岸」の岩石（沈状溶岩、柱状節理）、かつて湾内に使用されていた尾道産の御影石などを配し、無料入館できる市民に身近な文化施設として利用されている。

※現在は、傷みのため帆を下ろしている。

1.1.8.3 資料展示替

特になし

1.1.9 佐渡植物園

1.1.9.1 事業趣旨

佐渡島の植物分布の特異性、多様性の縮図として、佐渡島内に自生している植物を収集、植栽、展示して研究の資料として提供する。

青少年の生涯学習の場としての植物園を提供する。

文化的、学術的資料を提供し、植物に親しむ場を提供する。

1.1.9.2 展示構成

北緯 38 度線上に位置する佐渡島は、潮流の影響によって寒暖の差が少なく自生種が極めて多い。日本列島の縮図的な植物分布となっている。13 のゾーンに区分けした園内には、自生種の代表的な植物を植栽展示しており自然散策道や遊歩道を歩くと四季を通じて趣が感じられる。

昭和 47 年佐渡植物園 20 周年記念として、明治神宮から分けて頂いた花菖蒲は 6 月下旬～7 月上旬が見頃である。

1.1.9.3 山野草展

来園者に四季を感じて頂くため、当園では隣接しているクアテルメ佐渡（温泉施設）等を会場に春の山野草展（5 月）、ウチョウラン展（7 月）、大文字草展（10 月）、雪割草展（3 月）の 4 回の山野草展を開催している。

1.1.9.4 園内の整備点検

市民の文化的・学術的活動を支援につなげるため園内と周辺的美観等を維持し、また、来館者の安全の確保を目的に園内の整備点検を行っている。

1.1.9.5 資料展示替

特になし

1.1.10 新穂歴史民俗資料館

1.1.10.1 事業趣旨

当初は、大野川ダム建設事務所であった建物を利用して、昭和 55 年に開館した。トキをはじめとして、旧新穂村に関する資料を中心に考古・農具などが収集されていた。これらの資料をさらに有効利用するため、昭和 62 年に現在の資料館が建設された。1 階において

芸術・伝統芸能、2 階において考古と民俗資料の展示を行っている。また、1 階では裂き織りや勾玉作りの体験を随時受け付けている。

1.1.10.2 展示構成

まず 1 階では、新穂出身の日本画の大家土田麦僊の作品や鬼太鼓、国指定文化財の文弥人形、県指定文化財の説経人形、のろまん人形に関する資料が展示されている。2 階においては、国指定重要文化財の新穂玉作遺跡や蔵王遺跡の資料、また各種農具や生活用具といった民俗資料が展示されている。

1.1.10.3 常設展示の保守点検・補修

平成 22 年度より、地元の裂き織りサークルに受付業務の委託を行っている。受付以外の施設保守については、職員が随時点検することで補完している。

1.1.10.4 資料展示替え

常設展示については、基本的に展示替えを行っていない。

1.1.11 金井歴史民俗資料収蔵庫

1.1.11.1 事業趣旨

広く佐渡国中平野における農耕文化資料等の保存を目的として、昭和 50 年に竣工した。その後、郷倉が両津市大字上横山（現在の佐渡市上横山）から移築されている。民俗資料約 2,000 点、考古資料約 4,000 点を収蔵している。平成 23 年度から資料館としての開館は行っていない。

1.1.12 明治記念堂（開導館）

1.1.12.1 事業趣旨

明治 27 年から 28 年にかけて行われた日清戦争で、佐渡出身の兵士 40 余名が戦死した。その英霊を慰めるため明治 29 年に、金井地区得勝寺の住職である本莊了寛が一念発起し、島内外から義捐金を集め、敷地を購入し堂宇を建立し「明治記念堂」と名付けた。

その後、付属施設として博物資料を展示するための「開導館」を建てた。相川の鉱山学校から譲り受けた資料や、日清・日露戦争等の資料、島内外の資料を陳列した。明治 35 年に、明治記念堂と開導館の落成式が

開催された。

現在、資料館としての開館は行っておらず、今後文化財として活用する予定。

1.2 企画展示

1.2.1 両津郷土博物館

1.2.1.1 新寄贈資料公開展

佐渡を見つめた二人 ～本間寅雄と持田千秋～

会期：平成 24 年 4 月 1 日（日）～8 月 16 日（木）

主催：佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター

内容：佐渡相川出身の本間寅雄と持田千秋の両氏が生涯をかけて集めた書籍や郷土資料、調査資料等を中心とした資料群が、両家ご遺族のご厚意により寄贈されたことを受け、一部を公開した。来場者 1,503 名。

1.2.1.2 県指定文化財公開展

北條家医学関係資料 流人の医師 北條道益

会期：平成 24 年 9 月 1 日（土）～12 月 11 日（火）

主催：佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター

内容：平成 14 年に北條家医学関係資料が県指定文化財となった。平成 23 年には北條家のご厚意で県指定文化財を含む漢方医家北條家関連資料が佐渡市に寄贈され、両津郷土博物館で保管することとなった。県指定資料とほぼ同数の未指定物が含まれ、その中には初代北條道益と同時代の流人である小倉大納言実起への処方を行ったことを示すものもある。初代北條道益の活動だけでなく、北條家が漢方医家としてまた篤農家として佐渡に確実に根付いていった経緯を示す歴史資料を公開した。来場者 686 名。

1.2.1.3 佐渡市合併 10 周年記念

佐渡博物館・両津郷土博物館合同企画展

新春特別展 佐渡市所蔵お宝展

会期：佐渡博物館

平成 25 年 1 月 1 日（火）～3 月 10 日（日）

両津郷土博物館

平成 25 年 1 月 4 日（金）～3 月 10 日（日）

主催：財団法人佐渡博物館・佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター

内容：佐渡市役所の各庁舎と施設には、旧 10 市町村時代から市民の方々や関係各位から寄贈されたり購入した美術工芸品等の作品・資料が数多く保管されている。一部は公開されているが、日の目を見ずに収蔵されているものもたくさんある。そこで、これらの美術品・工芸品等を佐渡博物館・両津郷土博物館の 2 会場に集めて市民の皆様へ接してもらうために開催した。

来場者 743 名。

1.2.2 佐渡植物園

1.2.2.1 春の山野草展

会期：平成 24 年 5 月 12 日（土）～5 月 13 日（日）

主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場：クアテルメ佐渡

内容：出展者 10 名、展示 185 鉢、来場者 126 名

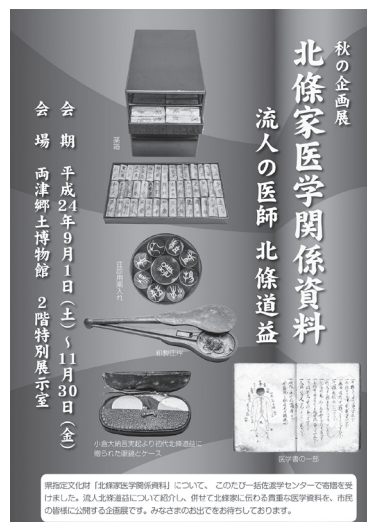
1.2.2.2 ウチョウラン展

会期：平成 24 年 7 月 7 日（土）～7 月 8 日（日）

主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会

会場：クアテルメ佐渡

内容：出展者 10 名、展示 180 鉢、来場者 118 名



1.2.2.3 大文字草展

会期：平成 24 年 10 月 27 日（土）～ 10 月 28 日（日）
 主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会
 会場：佐渡羽茂 B & G 海洋センター
 内容：出展者 9 名、展示 154 鉢、来場者 92 名

1.2.2.4 雪割草展

会期：平成 25 年 3 月 23 日（土）～ 3 月 24 日（日）
 主催：佐渡植物園・佐渡植物園友の会
 会場：ウッドパレス妹背
 内容：出展者 13 名、展示 300 鉢、来館者 350 名

1.2.3 新穂歴史民俗資料館

1.2.3.1 越後国域確定 1300 年記念企画展

発掘された佐渡

会期：平成 24 年 6 月 1 日（金）～ 10 月 10 日（水）
 主催：佐渡市世界遺産推進課・佐渡市教育委員会
 内容：越後国域確定 1300 年記念講演会が近接する佐渡市トキのむら元気館で行われたのに合わせて開催した。律令制の下で佐渡国が設置された時期をうかがう遺跡として、佐渡国分寺跡・下国府遺跡・小泊窯跡群の写真パネルや出土品を展示。また、最近行われた発掘調査の成果も出土品とともに公開した。

1.2.3.2 裂き織り作品展

会期：平成 24 年 10 月 7 日（日）～ 10 月 14 日（日）
 主催：佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター
 内容：島内の裂き織り愛好者が自作品を出品・展示した。来場者約 460 名。

1.2.4 史跡佐渡奉行所跡

ひな人形特別展示

会期：平成 25 年 3 月 1 日（金）～ 3 月 20 日（水）
 主催：佐渡市教育委員会社会教育課佐渡学センター
 内容：「佐渡國相川ひなまつり」に合わせて開催し、相川地区のひな人形を中心に展示した。

1.3 収集保管事業

- 佐藤 澄氏文庫（6 月）（寄贈）
- 佐藤利夫氏文庫・資料（7 月）（寄贈）
- 石瀬佳弘氏文庫（8 月）（寄贈）

- 金子一三家資料（10 月）（寄贈）
- 城腰芳蔵氏作 水上輪・桶製品（10 月）（寄贈）
- 東大通会館の収蔵資料（佐和田町史編纂資料、歴史民具資料）を両津郷土博物館へ移動（10 月）
- モノクロ写真「両津港の光景」（11 月）（寄贈）
- 本間孝氏撮影写真資料・図書（11 月）（寄贈）
- 石扣町講中 講中道具（12 月）（寄贈）
- 戸島氏所蔵大正期佐渡観光資料（3 月）（寄贈）
- 旧新穂公民館所蔵トキ保護活動関連写真類を両津郷土博物館へ移動（3 月）
- 浦川小学校所蔵考古資料を両津郷土博物館へ移動（3 月）
- 本間家所蔵写真等資料（3 月）（寄贈）

1.4 調査研究事業

1.4.1 ホームページ更新

随時

1.4.2 調査回答事業（通年）

郷土博物館は特に歴史文化の情報センターとしての役割も多く、関係機関・市民・児童生徒・県内外にお住まいの方々から、幅広いお問い合わせをいただいている。

調査研究・観光等々目的も多岐にわたるが、電話での回答や FAX 等での資料提供をさせていただいた。

1.4.3 寄贈・寄託資料デジタルアーカイブ化

および目録作成

1.4.3.1 古文書デジタルアーカイブ化

- 明治期 5 万分の 1 地形図
- 佐渡奉行組頭歴代（嘉永 3 年写）
- 佐渡相川志（明治 27 年写）
- 金山由緒之巻
- 相川諸防地理之図
- 相川郷土博所蔵佐渡鉾山関係設計図
- 相川郷土博所蔵古写真
- 地役人永井家文書
- 地役人長井家文書
- 役所出火ノ一件
- 佐渡鉾山道遊ノ記
- 相川県庁図

- 佐渡鉾山旧坑絵図
- 潟上村古城間歩絵図
- 新穂銀山滝沢之内
- 小木港古写真
- 戸島氏寄贈資料

他

1.4.3.2 明治～昭和期 佐渡発刊新聞デジタルアーカイブ化

- 新佐渡 大正4年～昭和6年（一部欠日有り）
- 佐渡新聞 明治30年～昭和15年（一部欠日有り）
- 佐渡民報 昭和25年（一部）
- 佐渡新報 昭和25年～昭和36年（一部欠日有り）
- 佐渡日報 大正年代（およそ150日分）
- 佐渡毎日新聞 大正年代（約50日分）

1.4.3.3 資料図録化

- 市立博物館所蔵刀剣類撮影および図録化
- 新町山本家所蔵土人形撮影および図録化
- 新町山本家所蔵化石撮影および図録化
- 佐渡市所蔵美術品（企画展用図録作成）

1.4.3.4 稀少出版物およびリポジトリ関係資料のデジタル化

○教育委員会及び世界遺産推進課発刊調査報告書等の
リポジトリ関係資料のデジタル化

本年度リポジトリ提供資料 7件

○稀少出版物

- 佐渡金山遺跡（佐渡奉行所跡）
- 佐渡海運史 田中圭一著
- 佐渡相川志 田中圭一著
- 三人の流人

他

1.5 支援、助成事業

1.5.1 伝統文化等保存支援補助事業

- 体験学習事業 佐渡の能を識る会「ふるさと芸能体験」（「下がり羽」ミニ講演、能楽・人形芝居・やわらぎ体験教室）61名参加、金井能楽堂
- 後継者育成事業 佐渡鷺流狂言研究会 通年10名 真野ふるさと会館等

- 後継者育成事業 高千中学校「文弥人形伝承教室」
通年10名 高千中学校等
- 特別活動支援 「羽茂高校民謡同好会」（生徒26名）
（長崎県島原市、全国高等学校総合文化祭参加 平成
24年7月28日～8月4日）

1.5.2 佐渡博物館との事業連携

1.5.2.1 企画展後援

企画展 「魅力イッパイ 佐渡の海の生きもの展 ～
軟体動物の世界～」

会場 佐渡博物館

期間 平成24年7月1日（日）～9月2日（日）

1.5.2.2 企画展共催

企画展 「佐渡博物館・両津郷土博物館合同企画展
新春特別展 佐渡市所蔵お宝展」

会場 佐渡博物館・両津郷土博物館

期間 佐渡博物館 平成25年1月1日～3月10日
両津郷土博物館 平成25年1月4日～3月
10日

1.6 新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会 連携協定事業

1.6.1 シンポジウム

鬼太鼓～舞う・叩く・伝える～

日時 平成24年11月3日（文化の日）

午前9:30～午後4:00

会場 真野ふるさと会館

入場者数 約200名

内容 実演：田中子供豆まき（沢根）、
北方子供鬼太鼓（新穂北方）
夷七ノ町鬼太鼓（両津夷）、
岩首鬼太鼓（岩首）



講演：

池田哲夫（新潟大学人文学部教授）

「鬼太鼓の研究をめぐって」

伊野義博（新潟大学教育学部教授）

「祭りを守るということー祭りの実践ー」

星野紘氏（東京文化財研究所名誉研究員）

「民俗芸能の持つ魅カームラの祭りが危ないー」

討論：

伊野義博、星野紘、池田哲夫、小池莊一郎（夷）、

相田忠明（北方）、飯島康夫（コーディネーター）



1.6.2 佐渡学セミナー



日時 平成 25 年 3 月 16 日（土） 午後 1:00 ～ 4:10

会場 佐渡市トキのむら元気館

入場者数 約 60 名

内容

講演 橋谷英子（新潟大学人文学部教授）

「中国の人形劇」

報告 飯島康夫（新潟大学人文学部准教授）

吉田萌子（新潟大学人文学部 4 年生）

「赤泊徳和民俗調査」

1.6.3 新潟大学国際課留学生研修旅行案内

日程 平成 24 年 5 月 12 日（土）～ 13 日（日）

場所 史跡佐渡奉行所跡（相川）、

宿根木伝統的建造物群保存地区（小木）

1.7 新潟大学図書館との連携協定事業

○新潟大学図書館と佐渡市教育委員会の実務者会議

平成 24 年 7 月 5 日

佐渡島開発総合センター 第 2 研修室

・活動報告

平成 23 年度新潟県地域共同リポジトリ活動報告

平成 23 年度佐渡市立中央図書館との連携協力活動
報告

・審議事項

平成 24 年度新潟県地域共同リポジトリ活動について

平成 24 年度佐渡市立中央図書館との連携協力活動
について

最近の各館の活動状況について（情報交換）

○平成 24 年度佐渡学センター発刊物・世界遺産推進

課発刊物をデジタル化し、学術リポジトリに登録
する。

1.8 刊行物

○『佐渡学センターだより』第 6 号（電子出版）

○『佐渡学センターだより』第 7 号（電子出版）

○『佐渡学センターだより』第 8 号（電子出版）

○佐渡学センター 年報 第 4 号

1.9 イベント

1.9.1 白山丸まつり 共催事業

前夜祭

平成 24 年 7 月 28 日（土） 17:00 ～ 21:00

・鼓童小編成による公演

・小木おけさ子供連の民謡公演

本 祭

平成 24 年 7 月 29 日（日） 9:00 ～ 15:00

・白山丸人力曳き出し・帆上げ体験、無料公開

・岬太鼓公演

・南佐渡芸能サミット

・大珍宝みこし

1.10 その他（キャンペーン協賛）

1.10.1 首都圏佐渡連合会員限定「ふるさと再発見の旅」

（主催：佐渡市役所観光商工課体験学習誘致係）

期間 平成 24 年 4 月 1 日（日）

～平成 25 年 3 月 31 日（日）

1.10.2 「佐渡観光・検定」合格者優待特典

（主催：佐渡観光・文化検定実行委員会）

期間 平成 24 年 4 月 1 日（日）

～平成 25 年 3 月 31 日（日）

1.10.3 「G I A H S 観光誘客促進事業」

（主催：佐渡市役所観光商工課体験学習誘致係）

期間 平成 24 年 7 月 1 日（日）～8 月 31 日（金）

1.10.4 「宝の島・佐渡スタンプラリー」

（主催：「宝の島・佐渡スタンプラリー」実行委員会）

期間 平成 24 年 7 月 1 日（日）～9 月 30 日（日）

1.10.5 「佐渡友好交流パス」優待

（主催：佐渡市役所観光商工課体験学習誘致係）

期間 平成 24 年 7 月 1 4 日（土）～8 月 31 日（金）

1.10.6 「ときめいと企画展『佐渡の海洋生物』

スタンプラリー」

（主催：新潟大学）

期間 平成 24 年 7 月 14 日（土）～10 月 14 日（日）

1.10.7 佐渡トキツデーウォーク 2012

（主催：佐渡トキツデーウォーク実行委員会）

期間 平成 24 年 10 月 13 日（土）～10 月 14 日（日）

1.10.8 「佐渡の日」2013 キャンペーン

（主催：佐渡観光協会）

期間 平成 25 年 3 月 2～4 日、9～11 日、
16～18 日、23～25 日

1.10.9 「はなが甲子園」版画制作・取材協賛

（主催：全国高等学校版画選手権大会実行委員会）

期間 平成 25 年 3 月 19 日（火）～3 月 23 日（土）

2 交流普及事業概要

2.1 視察・団体受入れ状況

2.1.1 両津郷土博物館

月日	曜日	団体	人数
4月5日	木	下見	3
4月6日	金	佐渡市立金井小学校教員下見	4
4月27日	金	佐渡市立金井小学校	49
5月15日	火	佐渡市立金井新保保育園	140
5月20日	日	片野尾公民館	35
5月21日	月	新潟大学 橋本教授	1
6月13日	水	佐渡市立河崎小学校	12
6月14日	木	桃山小学校	39
6月14日	木	大野小学校	12
6月15日	金	国立科学博物館 北山先生	1
6月24日	日	大川公民館	33
7月3日	火	佐渡市立金井吉井小学校下見	1
7月11日	水	放送大学新潟教育センター長他	3
7月20日	金	佐渡市役所世界遺産推進課	20
8月6日	月	佐渡市立金泉小学校下見	4
9月6日	木	五泉南小学校	23
10月6日	土	企画展資料寄贈者	7
10月13日	土	佐渡トキソーデーウォーク	50
10月14日	日	佐渡市役所地域振興課	6
10月15日	月	NHK取材班	7
10月20日	土	真野歴史講座	15
10月21日	日	加茂湖一周ウォーキング	20
10月25日	木	佐渡市立加茂小学校	28
10月25日	木	陸上自衛隊	2
10月29日	月	佐渡市役所観光商工課	2
10月30日	火	貝塚老人会	20
11月5日	月	NHK取材班	5
11月7日	水	NHK取材班	5
11月8日	木	浦和市議会	5
11月12日	月	神奈川大学学生	1
11月24日	土	佐渡市役所総合政策課	2
1月15日	火	佐渡市役所衛生委員会	6
1月16日	水	佐渡市立高千中学校	12
1月28日	月	株式会社エコー	2
2月8日	金	ジオパーク市民講座	12
2月8日	金	佐渡市立浦川小学校	5
2月12日	火	佐渡市立両津小学校	27
2月15日	金	佐渡市立加茂小学校	47
2月18日	月	佐渡市役所農林水産課	3
2月19日	火	佐渡市立両津吉井小学校下見	1
3月5日	火	佐渡市立両尾小学校	14
3月6日	水	佐渡市立両津吉井小学校	15
3月14日	木	吹田市立博物館	2

2.1.2 相川郷土博物館

月日	曜日	団体	人数
4月20日	金	佐渡市立新穂中学校	4
5月9日	水	佐渡市立加茂小学校	47
5月24日	木	佐渡市立前浜小学校	28
9月27日	木	佐渡市立新穂小学校	3
10月2日	火	佐渡市立真野小学校	48
10月8日	月	佐渡市役所観光商工課	16
10月11日	木	佐渡市立東中学校	5

10月5日	金	佐渡市立真野小学校	52
11月13日	火	佐渡市立二宮小学校	35
11月15日	木	佐渡市立行谷小学校	17
2月15日	金	佐渡市立畑野小学校	23
2月28日	木	佐渡市立新穂小学校	17

2.1.3 史跡佐渡奉行所跡

月日	曜日	団体	人数
4月19日	木	佐渡市立前浜中学校	8
4月19日	木	佐渡市立羽茂中学校	23
4月20日	金	佐渡市立新穂中学校	4
4月27日	金	佐渡市立両津小学校	73
4月27日	金	佐渡市立金井小学校	63
4月27日	金	佐渡市立後山小学校	27
5月9日	水	佐渡市立加茂小学校	45
5月13日	日	新潟大学留学生	132
5月18日	金	佐渡市立川茂小学校	15
5月19日	土	佐渡市役所地域振興課離島交流係	5
6月1日	金	佐渡市役所地域振興課離島交流係	21
6月2日	土	佐渡市役所地域振興課離島交流係	4
6月2日	土	佐渡市役所地域振興課離島交流係	20
6月24日	日	佐渡市役所世界遺産推進課	10
6月27日	水	佐渡市立河原田小学校	18
7月8日	日	佐渡市役所世界遺産推進課	50
7月9日	月	佐渡市立相川小学校	27
7月12日	木	佐渡市役所世界遺産推進課	17
7月21日	土	佐渡市役所観光商工課	6
7月28日	土	佐渡市教育委員会北教育事務所	138
8月18日	土	佐渡市役所地域振興課離島交流係	4
8月22日	水	佐渡市役所世界遺産推進課	13
8月23日	木	新潟県立佐渡高等学校	91
9月18日	火	佐渡市立真野小学校	57
10月8日	月	佐渡市役所観光商工課	16
10月11日	木	佐渡市立東中学校	6
10月18日	木	新潟県立相川高等学校	49
10月23日	火	金井地区公民館事業	50
10月26日	金	佐渡市役所世界遺産推進課	15
12月1日	土	佐渡市役所観光商工課	4
12月19日	水	佐渡市立川茂小学校	4
2月6日	水	佐渡市立金井吉井小学校	12
2月7日	木	佐渡市役所世界遺産推進課	2
2月22日	金	新潟県立佐渡中等教育学校	83
3月14日	木	佐渡市立新穂小学校	26

2.1.4 佐渡国小木民俗博物館

月日	曜日	団体	人数
4月18日	水	佐渡市立高千中学校	19
4月20日	金	佐渡市立新穂中学校	6
4月20日	金	佐渡市立相川中学校	36

5月13日	日	新潟大学留学生	132
6月1日	金	佐渡市立新穂トキっ子保育園	38
6月25日	月	佐渡市立真野小学校	50
7月1日	日	佐渡市立佐和田中学校	117
7月6日	金	佐渡市立小木小学校	28
8月19日	日	鼓童文化財団	22
8月23日	木	新潟県立佐渡高等学校	87
8月31日	金	佐渡市役所観光商工課	4
10月3日	水	ジオパーク推進室	3
10月7日	日	佐渡市役所観光商工課	15
10月8日	火	佐渡市役所観光商工課	16
10月14日	日	佐渡トキソーデーオーク 2012	0
11月14日	水	佐渡市立羽茂小学校	27
11月17日	土	新潟県立佐渡高等学校	15
11月17日	土	新潟県立佐渡高等学校	15
11月21日	水	佐渡市立加茂小学校	18
12月6日	木	ジオパーク推進室	29
12月20日	木	佐渡市役所世界遺産推進課	3
2月28日	木	佐渡市立小木小学校	15

2.1.5 海運資料館

月日	曜日	団体	人数
4月20日	金	佐渡市立新穂中学校	6
6月15日	金	佐渡市立両尾小学校	21
9月7日	金	佐渡市立小木小学校	125
10月14日	日	佐渡トキソーデーオーク 2012	0
10月31日	水	佐渡市立小木小学校	19

2.1.6 新穂歴史民俗資料館

月日	曜日	団体	人数
4月3日	火	佐渡市役所地域振興課視察	2
4月5日	木	佐渡汽船観光下見	3
4月8日	日	佐渡市立前浜小学校下見	3
4月10日	火	佐渡市役所世界遺産推進課視察	5
4月20日	金	佐渡市立新穂中学校	3
4月28日	土	京都工芸繊維大学 上田先生 資料調査	2
4月29日	日	佐渡市立新穂中学校	3
5月9日	水	佐渡市立加茂小学校	47
5月17日	木	佐渡市役所子育て支援室	3
5月23日	水	佐渡市役所世界遺産推進課視察	2
5月24日	木	佐渡市立前浜小学校	26
5月31日	木	佐渡市立新穂小学校	17
6月14日	木	大野小学校・月岡小学校	41
6月21日	木	蓮野小学校・三用小学校	23
7月22日	日	新潟日報カルチャースクール	22
7月28日	土	真野新町第3こども会	16
8月28日	火	下見	3

8月30日	木	法政大学	13
9月1日	土	新潟県立佐渡中等教育学校	4
9月12日	水	佐渡市立新穂中学校総合学習	11
9月19日	水	佐渡市立新穂中学校総合学習	10
9月26日	水	佐渡市立新穂中学校総合学習	11
9月27日	木	佐渡市立新穂小学校 佐渡市立行谷小学校	3
10月5日	金	佐渡市立真野小学校	47
10月6日	土	相模女子大学	17
10月7日	日	トキタ映え市	約 400
10月10日	水	佐渡市立新穂中学校総合学習	11
10月11日	木	佐渡市立東中学校総合学習	8
10月17日	水	佐渡市立新穂中学校総合学習	8
10月23日	火	佐渡市役所監査委員・陸上自衛隊	8
10月24日	水	佐渡市立新穂中学校総合学習	11
10月28日	日	相川技能伝承館職員裂き織り研修	3
10月31日	水	佐渡市立新穂中学校総合学習	11
11月7日	水	佐渡市立新穂中学校 総合学習公開授業	20
11月11日	日	下久知こども会	20
11月13日	火	佐渡市立二宮小学校	36
11月15日	木	佐渡市立行谷小学校	17
11月21日	水	佐渡市立新穂中学校総合学習 佐渡市立加茂小学校	14
11月24日	土	下見	2
2月15日	金	佐渡市立畑野小学校	23
2月28日	木	佐渡市立新穂小学校	17
3月15日	金	佐渡市立七浦小学校	13
3月20日	水	版画甲子園関係者	8

2.2 出前授業・講演等

本年度実績無し

3 職場体験

本年度実績無し

4 学芸員実習受入れ

4.1 両津郷土博物館

8月9日（木）

新潟大学 1名、東京工芸大学 1名

IV 関係団体

1 佐渡市博物館協議会

佐渡市博物館協議会では、昨年度まで継続審議していた総体的な「博物館・資料館のあり方」というテーマから、具体的な運営や事業に係る議論を重ねた。

第1回 佐渡市博物館協議会

平成24年11月20日（火）

協議内容

- ・委員任命、会長・副会長の互選
- ・平成23年度事業報告
- ・平成24年度事業計画
- ・佐渡市博物館・資料館の今後のあり方について

第2回 佐渡市博物館協議会

平成25年3月19日（火）

協議内容

- ・平成24年度事業報告
- ・博物館への資料受入の可否判断について
- ・平成25年度事業計画（素案）
- ・財団法人佐渡博物館の今後の経営形態について

2 佐渡植物園協議会

第1回 佐渡植物園協議会

平成24年5月22日（火）

- ・平成24年度事業内容確認
- ・園内植生調査

第2回 佐渡植物園協議会

平成24年11月27日（火）

- ・平成24年度事業報告
- ・平成25年度予定事業の確認
- ・平成25年度からの佐渡植物園の運営について

V 日誌抄

1 両津郷土博物館

※佐渡学センターを含む

4月1日(日) 新寄贈資料公開展 佐渡を見つめた二人～本間寅雄と持田千秋～ 開始
 4月4日(水) 強風被害状況調査
 6月11日(月) 相川郷土博物館収蔵品台帳データ化について協議、新潟大学農学部 朱鷺・自然再生学研究センター 大脇准教授、齋藤助手来館
 6月25日(月) 新潟県立歴史博物館 味方家資料を下見
 7月2日(月) テレビ局がトキ関連の写真を下見
 7月5日(木) 新潟大学図書館職員来館、リポジトリに関する協議
 7月20日(金) 新潟大学人文学部長を表敬訪問
 7月24日(火) 相川郷土博物館収蔵物台帳作成の下見
 7月25日(水) 佐渡とき保護会 平成24年度総会をトキ交流会館で開催
 8月1日(水)～8月2日(木) 新潟県立文書館佐渡地区資料所在調査(長谷寺)に立ち会い
 8月9日(木) 博物館実習生2名受け入れ 世界遺産、ジオパーク、ジアス連絡会議
 8月17日(金) 新寄贈資料公開展「佐渡を見つめた二人～本間寅雄と持田千秋～」撤収
 8月22日(水) 社会教育主事実習生受け入れ
 9月1日(土) 県指定文化財公開展「北條家医学関係資料展 流人の医師 北條道益」開始
 9月5日(水)～9月7日(金) 味方家資料閲覧対応
 9月6日(木) 新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定事業シンポジウム打ち合わせ
 9月7日(金) 放送大学公開講演会「佐渡の民俗と文化」(真野ふるさと会館) 講師 新潟大学人文学部教授 池田哲夫氏
 10月1日(月) 収蔵庫内の一画にコンパネを敷設。以後順次、臨時的な書庫を整備
 10月12日(金) 佐和田 東大通会館にある民具を金井歴史民俗資料収蔵庫に搬入
 10月13日(土) 佐渡トキソーデーウォーク
 11月3日(土) 新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定事業シンポジウム「一舞う・叩く・伝える

るー 鬼太鼓」開催

11月7日(水) 指定文化財所在確認作業開始(以後継続)
 11月12日(月) 赤泊村史資料コピー閲覧対応
 11月15日(木) 相川郷土博物館の所管について打ち合わせ
 11月20日(火) 第1回 佐渡市博物館協議会
 11月30日(金)～12月1日(土) 新潟県立文書館 佐渡地区資料所在調査(長谷寺)に立ち会い
 12月12日(水) 県指定文化財公開展「北條家医学関係資料展 一流人の医師 北條道益」撤収
 12月20日(木) 新潟県観光物産株式会社「朱鷺基金」贈呈式
 12月25日(火) 水津区郷土史 閲覧対応
 1月4日(金) 佐渡博物館・両津郷土博物館合同企画展「佐渡市所蔵お宝展」開始
 1月18日(金) 映画「飛べダコタ」撮影班に所蔵資料貸し出し(～1月30日)
 1月28日(月) 元東大地震研究所 都司先生来館・資料調査
 2月23日(土)～2月24日(日) 下久知郷土史編纂委員資料調査
 3月10日(日) 佐渡博物館・両津郷土博物館合同企画展「佐渡市所蔵お宝展」終了
 3月11日(月) 佐渡博物館・両津郷土博物館合同企画展「佐渡市所蔵お宝展」撤収・作品返却開始、下久知郷土史編纂委員 資料調査
 3月19日(火) 第2回 佐渡市博物館協議会

2 相川郷土博物館

4月4日(水) 暴風雨の為雨漏り・浸水あり文書館の窓ガラス一枚落下
 4月11日(水) 世界遺産関係 10名
 4月19日(木) CNS 取材2名、羽茂中学校2年7名
 4月20日(金) 新潟日報撮影(木型)、新穂中学校9名
 4月24日(火) 新潟日報撮影(馬場遺跡)
 4月29日(日) 文書館にてカメ虫による侵入異常発生(セコム)
 5月2日(水) 文書館にてカメ虫による侵入異常発生(セコム)

5月7日(月) 水上輪タンク修理(上酒屋塗装店)
7日～10日迄

5月18日(金) 世界遺産関係6名

5月19日(土) 佐渡市役所地域振興課離島交流6名

5月20日(日) ロングライド参加者2名

5月21日(月) 新大・橋本先生調査の為来館

5月25日(金) ジオパーク見学5名

6月2日(土) BSN新潟撮影下見2名

6月3日(日) BSN新潟撮影3名

6月5日(火) 新大・農学部3名

6月8日(金) 田中怜子氏来館(寄贈刀剣を見る)

6月20日(水) 新潟日報撮影(水金町関係)

6月24日(日) NHK撮影(相川十二ヵ月)4名

7月6日(金) 新潟日報撮影(渡辺渡胸像)

7月8日(日) 親子で歩く世界遺産8名

7月11日(水) 筑波大・安藤研究室10名

7月12日(木) 世界遺産関係(台湾)17名

7月15日(日) 大雨の為雨漏り・浸水

7月17日(火) 木箱(鉾石 他)搬出

7月21日(土) BSN取材8名

7月23日(月) 盆踊り絵馬貸出し

7月24日(火) 展示中の鉾石(小)貸出し

8月6日(月) 大雨の為雨漏り・浸水

8月18日(土) TBS撮影

8月19日(日) 佐渡市役所世界遺産推進課視察13名

8月21日(火) 収蔵庫道路側扉の鍵取替、収蔵庫保管の絵巻を両博に移動

8月26日(日) 親子で歩く世界遺産3名

9月3日(月) 大雨の為雨漏り・浸水

9月4日(火) 大雨の為雨漏り・浸水

9月10日(月) 佐渡市役所世界遺産推進課視察8名

9月24日(月) 銀・鉾石・鉛等貸出し(新潟歴史博物館)

9月25日(火) 火災報知器点検

9月30日(日) NHK新潟取材下見3名

10月1日(月) 絵馬返却(知足美術館より)

10月11日(木) 電気設備定期点検(東北電気保安協会)

10月16日(火) 大安寺資料返却(相川ハ景他)
収蔵庫保管の刀剣を両博に移動

10月19日(金) NHK新潟取材(馬場遺跡)3名

10月23日(火) 金井公民館講座37名

10月25日(木) 陸上自衛隊員2名収蔵庫内国・県
指定品閲覧

10月26日(金) 佐渡市役所世界遺産推進課
現地研修15名

11月1日(木) 玄関ガラス2枚突風で割れる

11月2日(金) 電話線工事(新日興業)

11月5日(月) 電話線工事(新日興業)

11月13日(火) NTT電話機取付工事・セコム配線
工事13日～14日

11月17日(土) 新潟県立佐渡総合高校15名

11月21日(水) UXTV12月撮影の打合せ

11月28日(水) CNS撮影(新穂の絵図3点)

12月4日(火) UXTV撮影(絵巻)

12月5日(水) UXTV撮影(三田村邦彦・柳平則子)
鉾石返却(展示ケースに戻す)

12月6日(木) 暴風雨の為雨漏り・浸水あり

12月12日(水) 消防点検

12月26日(水) 電話回線不能・セコム回線故障に
よりセコムに夜間巡回依頼

12月27日(木) 電話回線修理

1月23日(水) コピー機修理(佐渡大商)

2月4日(月) 水上輪作業(サビ落とし・防腐剤塗等)
4日～7日

2月5日(火) 旧金泉中学校から洗濯板を両博へ

2月12日(火) 漏水の為水道管配管工事(菊地設
備)12日～15日文書館の鍵取替(高沢商店)

2月13日(水) 高千小学校へ火のし貸出し

2月22日(金) 奉行所へお雛様運ぶ
佐渡中等教育学校80名

3月5日(火) 水上輪館内設置

3月12日(火) 吹田市立博物館より那智曼荼羅絵図
の調査2名

3月13日(水) 高千小学校より火のし返却

3月14日(木) 甲南女子大・横濱先生「君の名は」
調査の為来館

3月20日(水) はんが甲子園5名

3月21日(木) 旧金泉中学校の鍵合鍵作製の為両博
へ、相川小学校校長先生パレオパラドキシアの事で
来館2名

3月28日(木) 火災報知器点検

3 相川技能伝承展示館

4月19日(木) 羽茂中学校ロクロ16名

4月27日(金) 後山小学校手造り23名
金井小学校ロクロ19名、手造り21名、フリー4名、

湯呑み大5名、湯呑み小9名

5月2日(水) 小倉小学校ロクロ4名、手造り5名、
フリー4名

5月18日(金) 川茂小学校手造り12名

6月3日(日) 河原田小学校6年PTAロクロ16名

6月9日(土) 金井吉井小学校3年PTA湯呑み大23名

6月10日(日) 金泉小学校2年手造り20名

7月1日(日) 新穂小学校PTA手造り41名

畑野中学校PTAロクロ12名、手造り5名

7月2日(月) 相川小学校5年手造り22名

7月9日(月) NSG介護2年ロクロ16名、フリー11名

8月4日(土) 新穂小学校6年ロクロ37名

10月14日(日) 長江子供会手造り16名

2月22日(金) 県立佐渡中等教育学校ロクロ78名

4 史跡佐渡奉行所跡

4月3日(火)～4日(水) 暴風の為休館(4日午前
中まで)

4月6日(金) タビノイロTV番組6名

5月29日(火) きらり相川撮影4名

6月2日(土)～3日(日) 宵の舞

6月3日(日) BSN取材3名

6月8日(金) H26年のお茶会下見3名
(6/13 10/24)

6月12日(火) TV取材2名

6月18日(月) NHK新潟放送下見2名

6月19日(火)・20日(水) グーグルストリートビュー
地図撮影3名

7月3日(火) NHKやわらぎ撮影(生放送)13名

7月15日(日) 大雨でゴールデン佐渡休館その影響
で大混雑

7月21日(土) BSN勝場撮影(宮田)(1/1放送)
8名

7月28日(土) 春日居5・6年生113名+25名

8月6日(月) 暴風の為受付横看板横倒れ

8月16日(木) BSTBS撮影4名

9月23日(日) 淡交会下見(11/3お茶会)4名

10月4日(木) 雑誌取材(クリエイティブ)3名

11月3日(土) お茶会

11月22日(木) UXTV下見5名

11月28日(水) 消火栓点検

12月4日(火)～5日(水) UXTV撮影(三田村邦
彦)21名

1月14日(月) 台湾エージェント下見24名

1月22日(火) 畳替え(1/22～2/21)計88枚

2月4日(日) ポンプ修理(井戸)

2月23日(土) お難様展示(2/23～3/31)

2月27日(水) 廊下ござ取替(2ヶ所)お役所西側
壁落下(日時不明)

3月3日(日) 勝場ワックスがけ(午後～)

3月17日(日) UX撮影(吉田類)

5 佐渡国小木民俗博物館

4月2日(月) 週間現代取材

4月5日(木) 胎内市立黒川地区三小学校下見

4月9日(月) 燕市立吉田北小学校下見

4月12日(木) 燕市立小中川小学校下見

4月13日(金) 平林小学校下見、砂山小学校下見、
中野山小学校下見

4月17日(火) 潟東南小学校下見、岩室小学校下見

4月18日(水) 高千中学校生徒+引率、UX撮影

4月20日(金) 新潟大付属新潟小学校下見、相川中
学校生徒+引率、新穂中学校

4月23日(月) 加茂西小学校下見

4月29日(日) 長野市立湯谷小学校下見、長野市立
青木島小学校下見

5月9日(水) 新潟市立和納小学校下見

5月16日(水) 佐渡市教育委員会、収蔵庫雨漏り修繕

5月17日(木) 収蔵庫屋根瓦修繕

5月18日(金) 浜浦小学校修学旅行

5月19日(土) カワイ体育教室下見

5月24日(木) 小木幼稚園芋植え

5月25日(金) 蒲鉄トラベル(修学旅行下見)

5月29日(火) 赤泊中学校生徒+引率

5月31日(木) 黒川小学校修学旅行、黒川地区三小
学校修学旅行、さんぼく南小学校修学旅行

6月1日(金) 新穂トキっ子保育園園児+引率

6月5日(火) 濁川小学校修学旅行、燕東小学校修学
旅行

6月6日(水) 新潟交通佐渡(修学旅行下見)

6月7日(木) 栄北小学校修学旅行、新関小学校修学
旅行、春日小学校修学旅行、小川小学校修学旅行

6月8日(金) 大洲小学校修学旅行

6月12日(火) 豊田小学校修学旅行、和納小学校修
学旅行、三本柳小学校修学旅行

6月13日(水) 岩室小学校修学旅行、山田小学校修

学旅行

6月14日(木) 月岡小学校修学旅行、桃山小学校修学旅行、燕西小学校修学旅行
 6月15日(金) 分田小学校修学旅行、前山小学校修学旅行
 6月18日(月) 全日空関係者
 6月19日(火) 東青山小学校修学旅行
 6月20日(水) 佐渡汽船観光、鳥屋野小学校修学旅行
 6月21日(木) 栄小学校修学旅行、松浦小学校修学旅行、中野山小学校修学旅行、亀代小学校修学旅行
 6月27日(水) 猿橋小学校修学旅行、保倉小学校修学旅行、新通小学校修学旅行
 6月29日(金) 関屋小学校修学旅行、山辺野小学校修学旅行
 7月1日(日) 佐和田中学校生徒+引率
 7月2日(月) 両川小学校下見
 7月19日(木) 小木小学校6年
 7月20日(金) 栖吉小学校修学旅行
 7月28日(土) 白山丸まつり前夜祭
 7月29日(日) 白山丸まつり本祭り
 8月2日(木) 文化庁
 8月7日(火) テレビ新潟
 8月19日(日) 鼓童文化財団
 8月23日(木) 佐渡高校生徒+引率
 8月31日(金) 宇崎竜童氏(観光課同行)
 9月19日(水)～ 中庭ほか作業
 10月4日(木) NHK撮影
 10月10日(水) 小木幼稚園芋掘り
 10月14日(日) 佐渡トキソーデーウォーク
 10月26日(金) 歴史的景観都市協議会
 10月30日(火) さんばく北小学校修学旅行
 11月14日(水) 羽茂小学校児童+引率
 12月23日(日) 新潟日報撮影
 1月16日(水) 映画「飛べダコタ」撮影
 2月5日(火) JTB下見
 3月7日(木) 佐渡汽船(株)研修
 3月11日(月)～ はんざり内装工事
 3月16日(土) 佐渡汽船視察
 3月23日(土) 佐渡市役所下見、佐渡汽船観光下見
 3月25日(月) 燕市立小中川小学校下見、阿賀野市立堀越小学校下見、佐渡汽船観光下見
 3月27日(水) 新潟市立潟東南小学校下見、濁川小

学校下見、新潟交通くれよん村上下見、岡方第一小学校下見、有明台小学校下見、鳥屋野小学校下見
 3月28日(木) 水原小学校下見、新潟市立山田小学校下見、新発田市立七葉小学校下見、新潟交通くれよん村上下見、カナダケベック市観光団体下見、早通南小学校下見

6 海運資料館

4月20日(金) 新穂中学校6名
 6月15日(金) 両尾小学校21名
 9月7日(金) 小木小学校125名
 10月31日(水) 小木小学校19名

7 佐渡植物園

5月1日(火) 春の山野草展打ち合わせ
 5月12日(土)・13日(日) 春の山野草展
 5月22日(火) 平成24年度第1回植物園協議会、園内植生調査
 6月7日(木) 植物園友の会草刈り作業
 6月20日(水) 花菖蒲が見頃
 ウチョウラン展打ち合わせ
 7月7日(土)～8日(日) ウチョウラン展
 8月2日(木) 植物園友の会草刈り作業
 8月8日(水) 研修旅行「南佐渡の植生を訪ねて」
 10月10日(水) 大文字草展打ち合わせ
 10月27日(土)～28日(日) 大文字草展
 11月27日(火) 平成24年度第2回植物園協議会
 3月13日(水) 雪割草展打ち合わせ
 3月23日(土)～24日(日) 雪割草展

8 新穂歴史民俗資料館

4月4日(水) 暴風被害で散乱した屋根トタン板の片づけ
 4月6日(金) 暴風で破損した屋根の応急処置
 4月14日(土) 日吉神社例祭に出る民俗芸能団体が着替えのため事務室を使用
 4月20日(金) 新穂中学校校外学習で見学
 4月26日(木) 管理・受付業務打ち合わせ
 4月27日(金) 館内の整理・清掃
 4月28日(土) 京都工芸繊維大学上田先生、館蔵の土田麦僊作品下絵調査のため来館
 5月9日(水) 加茂小学校勾玉作り体験
 5月16日(水) 越後国域確定1300年記念企画展「発

掘された佐渡」準備作業

5月23日(水) 奈良文化財研究所副所長来館見学

5月24日(木) 前浜小学校 勾玉作り・裂き織り体験

5月28日(月) 管理・受付業務打ち合わせ

5月31日(木) 新穂小学校見学、越後国域確定 1300 年記念企画展「発掘された佐渡」準備作業

6月1日(金) 越後国域確定 1300 年記念企画展「発掘された佐渡」開始

6月12日(火) 土田麦僊作品下絵の返却を受ける

6月29日(金) 管理・受付業務打ち合わせ

7月19日(木) Life - Mag 掲載用に鬼の面を撮影

7月28日(土) 真野新町第3こども会勾玉作り体験

7月30日(月) 管理・受付業務打ち合わせ

8月28日(火) 管理・受付業務打ち合わせ

8月30日(木) 法政大学学生他 芸能関係資料見学

9月12日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)

9月19日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)

9月26日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)

9月27日(木) 新穂小学校・行谷小学校 勾玉作り体験

9月28日(金) 管理・受付業務打ち合わせ

10月4日(木) 東中学校総合学習

10月5日(金) 真野小学校勾玉作り体験

夕映え市に向けて裂き織り展示準備

10月6日(土) 相模女子大学見学

10月7日(日) トキ夕映え市 裂き織り作品展開始

10月10日(水) 越後国域確定 1300 年記念企画展「発掘された佐渡」終了、撤収

新穂中学校総合学習(裂き織り)

10月14日(日) 裂き織り作品展終了

10月17日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)

10月23日(火) 定期監査(収蔵品保管状況)

対応、陸上自衛隊が地誌調査のため国指定文化財の
写真撮影

10月24日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)

10月28日(日) 相川技能伝承展示館職員裂き織り
研修

10月30日(火) 管理・受付業務打ち合わせ

10月31日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)

11月7日(水) 新穂中学校総合学習(裂き織り)を公
開授業形式で実施

11月9日(金) 市民の方より菊の鉢植えを預かり、

玄関に展示、NHK 新日本風土記ポスターに使用する
資料の撮影

11月11日(日) 下久知こども会 勾玉作り体験

11月13日(火) 二宮小学校社会科見学、勾玉作り
体験

11月15日(木) 行谷小学校社会科見学

11月21日(水) 加茂小学校勾玉作り体験
新穂中学校総合学習(裂き織り)

11月27日(火) CNSテレビが新穂銀山の取材
管理・受付業務打ち合わせ

11月28日(水) 屋根修繕工事竣工

11月30日(金) 春～秋の開館期間終了

2月12日(火) 谷田ヶ瀬遺跡・垣ノ内遺跡出土品を
旧西三川中学校へ移動

2月14日(木) 管理・受付業務打ち合わせ

2月21日(木)～22日(金) 美術品収蔵場所を整
備

3月1日(金) 開館再開

3月14日(木)～15日(金) 平成24年度佐渡学セ
ミナー準備

3月16日(土) 平成24年度 佐渡学セミナー
(会場：佐渡市トキのむら元気館)

3月28日(木) 管理・受付業務打ち合わせ

資料紹介 新穂地区本間万吉家（最古園）と寄贈された仏壇についての調査レポート

佐渡学センター 学芸専門員 北見継仁

1. 調査の概要

1.1 はじめに

佐渡市新穂39に所在する本間万吉家所蔵の土蔵が、佐渡市合併以前に新穂村に寄贈されていた。また、同家の土蔵等に収蔵されていた古文書等は新穂村教育委員会に寄託されており、合併後の平成17年には、本間家の家紋である十六目結紋が入った仏壇1基が、新穂村歴史民俗資料館長を務められた末武勉・本間眞珠両氏の「新穂町における本間万吉家の役割を象徴するもの」という提言により、所有者の同意を得て歴史民俗資料館に寄贈された。

この調査レポートでは、本間万吉家と寄贈された仏壇の調査結果について述べることとする。



図1 本間万吉家の土蔵

1.2 調査の概要

平成19年に、現在の本間家当主である本間芳之氏から管理を委託されている青木勇氏を通じ、土蔵内の収蔵品についての文化財的評価の依頼、かつ八幡ダンス1棹、長持1棹を佐渡市に寄贈したい旨の連絡が入ったため、調査にはいることとなった。

その現状は、土蔵自体の改築・改修等の痕跡が目立ち、外観もトタン板が張られていた。

蔵の1階には、日常生活雑器、医学書、顕微鏡、フラスコ、薬品等医療に関するものが目立った。2階に

八幡ダンス1棹、長持1棹があり、布団・衣服（着物類）が中心である。全般的に漆器の多さが目立つが、揃いは数少ない。評価の視点をどこにおくかについては、難しいところであるが、際だって評価の高いものは見いだすことができなかった。

その際、青木勇氏に仲介の労をとっていただき、本間芳之氏から佐渡市教育委員会に寄贈された資料は、①文書類342点、②鯉絵蓋付茶碗2客、③八幡筆筒1棹、④長持1棹、⑤筆筒・長持収蔵衣料1括である。

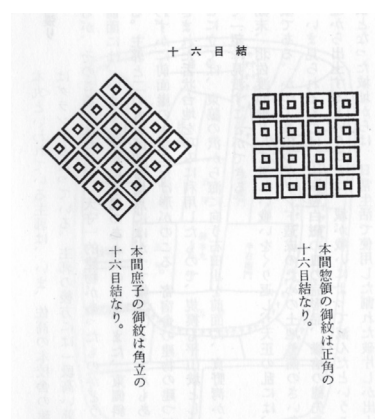


図2 十六目結
（『佐渡古城史』下より転載）

2. 調査の結果

2.1 新穂地区 本間万吉家について

新穂は天文年間の記録では地頭（代）雑太本間氏の支配下にあった。

『新穂まち今昔』によると、本間万吉家は新穂銀山が繁栄してきた明暦年間（1665～1667）に川原田本町から移住し、薬種商のかたわら両替商を始め、人形屋万吉、のちに穂波屋万吉と改めて島内全域にわたって手広く事業を繁栄せしめた、と書かれている。

現存している本間家の史料「先祖本間治部之一件」（年不詳）によれば、この書を書いた源太郎の5代前の先祖は本間山城守で、4代前は治部と名乗り、上杉景勝

と直江兼続から書きものをもらったと述べている。

また、万吉家は寛政元年(1789)には町年寄になっており、享和3年(1803)には、日本地図作成のための測量で佐渡に渡ってきた伊能忠敬の平山隊が止宿した家であり、通称の「最古園」は亀田鵬斎が名付けたという(「最古園記」)。真野新町の山本半右衛門家の4代は万吉家から養子に来ており、半右衛門家5代の子が万吉家を継ぐなど、親戚筋に当たる。万吉家の分家に当たる通称「孫七」は酒造業を営む商人で、その入婿に本間黙斎がいる。黙斎は「佐渡の中江藤樹先生」といわれた儒学者で、佐渡奉行所の修教館教授を務めた後、帰村して文政9年(1826)に、私塾「犁雨村舎」(りうそんしゃ)を開いた。万吉家の道の一つ隔てたはず向かいに住んでいたといわれている。

2.2 本間芳太郎氏について

本間万吉家に生まれた本間芳太郎氏(号は最古園)は、明治27年(1894)に第一高等医学校を卒業し、28年新潟県西頸城郡の伝染病院に勤務、29年に陸軍衛生隊士官候補生、30年に陸軍三等軍医となり正八位を授けられている。

明治30年に新穂村で開業したが、耳鼻咽喉科という新しい科目をかかげて人々の注目を引いた。当時としては画期的なことであった。35年に新穂・畑野村組合立伝染病院主任に就任し、大正3年(1914)には畑野村農学校校医にもなっている。

誠実で書画に興味をもち、多くの貴重品を所蔵し、俳諧にも秀で、また信心深い人と伝えられている。昭



図3 本間芳太郎医師と医院
(『佐渡病院のあゆみ 佐渡厚生連史』より転載)

和19年(1944)に他界、享年71歳であった。先年佐渡市に寄贈され、現在は取り壊された住居は、芳太郎の医院として建てられたものである。

なお、芳太郎の二男として生まれた治部も医師となり、当時の金沢村中興の堀家の一人娘愛子と結婚し、死後には全財産を旧金井町に寄贈している。

3 十六目結紋の入った仏壇についての考察

3.1 仏壇の形状

仏壇 高さ171cm 幅129cm 奥行き 80cm

仏壇台 高さ48cm 幅129cm 奥行き 80cm

仏壇には墨書で下記の事項が記述されている

明治参拾九年 於自宅

新調

畫 畫院 土佐光一

塗師 白根町 小林久三郎

彫師 新潟市 亀貝三蔵

金具師 白根町 野本間右エ門

佐渡郡新穂村大字新穂

本間萬吉

男 本間芳太郎

母 ゲン

妻 タミ

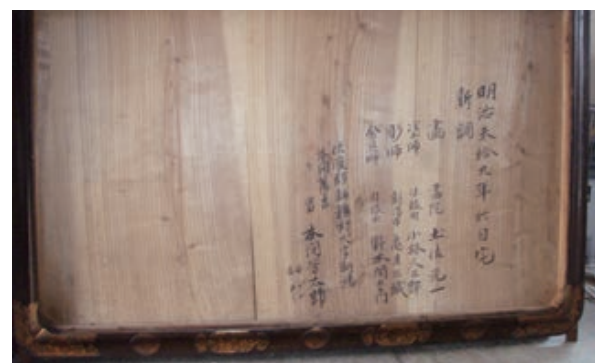


図4 仏壇に記載されている墨書

3.2 仏壇の考察

これは明治39年(1906)に新調された仏壇で、本

間芳太郎氏が新穂に開院した9年後に、白根の仏壇業者に製作を依頼したものである。白根の仏壇は300年の歴史と伝統をもつといわれている。

仏壇は、「漆塗り金仏壇」(台付型)である。黒漆が使用され、ところどころに家紋である角立の十六目結が配置されている。扉を開くと金箔の格子の内扉がある。仏壇の須弥壇と宮殿をつなぐ支柱には、2匹の龍の彫刻がほどこされている。ご本尊及び脇掛け部分には蓮の蒔絵が描かれている。補強金具であるかざり金具にも高度な技法が駆使されている。上記の墨書からみても多くの職人の手による美術的工艺品としての趣をもつ高級仏壇である。

なお、「畫院 土佐光一」であるが、この人物が純日本的な大和絵の流派である土佐派25世と同名であるが、同じ人物であるかについては不明である。

また、青木勇氏の調査によって、「金具師 白根町 野本間右エ門」は白根仏壇金具師初代の野本間右エ門から数えて六代目の野本間右エ門忠三郎という人物で、弘化4年に生まれ、大正12年に亡くなっていることがわかった。この野本家は享保年間に初代が仏壇の金具職人として飾屋を開業している。



図5 仏壇台



図6 仏壇 (内扉)



図4 仏壇全景



図7 仏壇 (全開状態)

4 おわりに

この調査からレポートに至るまで、特に本間芳之・青木勇の両氏からは多大なご教示とご協力を賜った。記して厚くお礼を申し上げる次第である。また、この調査結果について、今後いろいろとご教示いただければ幸いである。

(参考文献)

- ・『佐渡名鑑』 高屋次郎 佐渡毎日新聞社 昭和 13 年
- ・『佐渡 相川の歴史 資料集二』 「墓と石造物」 相川町史編纂委員会 新潟県佐渡郡相川町 昭和 48 年
- ・『新穂村史』 新穂村史編さん委員会 新穂村 昭和 51 年
- ・『佐渡古城史』 下 田中圭一・山本 仁 中村書店 昭和 56 年
- ・『新穂まち今昔』 新穂まち編集委員会編 新穂まち編集委員会 昭和 58 年
- ・『新穂村文化の先達』 川上三吉 昭和 62 年
- ・『幕末明治の佐渡日記』 磯部欣三 恒文社 平成 12 年
- ・『佐渡病院のあゆみ 佐渡厚生連史』 佐渡厚生連史編集委員会編 佐渡厚生農業協同組合連合会 平成 13 年

資料紹介 戦前の佐渡観光を考える～佐渡観光史の試み～

佐渡学センター 文化学芸係長 野口敏樹

〇はじめに

近代の佐渡は金銀山の島から観光地として発展を遂げた。道路等の社会資本の整備や交通手段の発達、各時代において観光の在り方を大きく変えている。佐渡市合併の平成16年以前、10市町村で市町村史（誌）や郷土史（誌）が刊行されているが、佐渡観光の歴史に関するまとまった記述が見えるのは、管見では『佐渡 相川の歴史』のみである。むしろ、交通機関による社史により、企業の歩みや交通手段の発達に関する記述に付随して、佐渡観光のあり方をたどることができる。

一方、筆者の勤務する両津郷土博物館では、戦前期の佐渡観光のパンフレット類を東京在住の方々から寄贈いただき、そこから見える各時代の観光の様相を考える機会を得た。また、筆者は近年講演活動で、観光客にとって大きな玄関口である両津港の変遷と併せながら、佐渡観光の移り変わり、それらを考察する上での素材となるパンフレット等の資料保存の意義を市民に呼びかけてきた。

本稿では、「佐渡観光史の試み」として、近代の戦前期までにおける佐渡観光の変遷を概観しながら、寄贈いただいた資料を紹介し、その様相を考えてみたい。

1 佐渡観光とそれを取り巻く環境

① 幕末期

江戸時代に「金と銀の島」で名を馳せた佐渡では、その初期に起こった空前のゴールドラッシュによる人の流入と、その後の人口流出があった。江戸期における佐渡観光の状況について、幕末の嘉永5(1852)年、吉田松陰が江戸からの東北遊学中に佐渡を訪れている。松陰は出雲崎から小木に渡り、相川の鉱山をはじめ真野御陵など各地の名所旧跡を回っている。このほか、伊能忠敬や松浦武四郎なども佐渡の土を踏んでいることが一般に知られている。しかし、この時期は旅客船が整備されておらず、小木を中心とした佐渡の各港に出入りする廻船等を利用しての旅であった。

② 明治期

明治維新後も佐渡金銀山は、御傭外国人などの指導も受

けながら模範鉱山として発展し、見学者が多く訪れた。最先端の冶金技術などの研修で、東京や京都などから大学生が相川に集まった。明治11年には、佐渡で初めての人力車が河原田に登場した。また、文人の尾崎紅葉や長塚節の来島は、その後数多くの文人・研究者等が佐渡を訪れるひとつの契機となった。新潟県内からは、明治32(1899)年5月、後に聯合艦隊司令長官として知られた山本五十六（当時高野姓）も、旧制長岡中学4年生のときに来島し、相川から河原田に抜け、真野竹田の旧跡を見学している。明治34(1901)年には、佐渡で最初の観光ガイドブックともいべき岩木弘の『佐渡名勝』が刊行されている。本書には島内各地の宿屋・料理屋・商店等の広告が数多く掲載されており、当時の経済界を知る上で貴重な資料である。

ところで、近代化の波は鉱山以外の佐渡の社会にも及んでいる。明治4(1871)年には日本最初の鉄製蒸気船となった新潟丸が、イギリス人造船技師マクニホールにより両津夷の加茂湖畔で建造されたが、建造当初は外国人専用として、佐渡人のための旅客船とはならなかった。明治10年代を迎えると、若林朔汀や本間金五郎など佐渡の資本家により越佐航路開発の苦難の努力が続けられ、それが明治19(1886)年に越佐汽船会社の設立と、新潟港と夷港を結ぶ度津丸の就航として結実した。ただ、同社は独占企業であり、運賃高騰や劣悪なサービスの問題が浮上し様々な課題を抱えながら大正期を迎えた。

一方、陸路では現在の国道350号線を中心とした幹線道路が、県議会議員鶴飼（羽生）郁次郎等の努力により県道として整備され、これにより特に夷港（両津港）は陸上交通との接続利便性が高まり、定期航路の開発とともに新たな佐渡の玄関口としての地位を築いた。

③ 大正期

急速な西洋化と近代化が進められた明治の代が終わりを告げた翌年の大正2(1913)年、夷の土屋六右衛門を社長とする佐渡商船株式会社が両津町に誕生し、第一佐渡丸が就航した。引き続き越佐汽船との競争が展開されたが、大正6年に北川新潟県知事の斡旋により、佐渡商船と越佐汽船の売り上げを合算し、6対4で配分する

「共同計算方式」が取り入れられた。この年、夷港が両津港と改称され、翌年には89 mの木製栈橋が完成した。

大正期には交通手段も発達を遂げ、大正2年に相川羽田町の三角屋旅館が乗合馬車を運行させている。同じ年、佐渡にも自動車が登場し、共同出資による6人乗りの乗合自動車が両津―相川間を走った。

大正5年に皇太子（後の昭和天皇）が真野御陵（順徳上皇火葬塚）行啓のため来島された。これも多くの文人や名士が佐渡を訪れるきっかけとなった。大正12年には浅香寛による『佐渡案内』が刊行された。明治の『佐渡名勝』以来の佐渡観光ガイドブックといえる小著で、「順徳天皇御遺跡案内」が巻末に付され、併せて数多くの広告が掲載されている。旅館の広告には日蓮宗信徒の定宿を銘打つものが目立つようになる。佐渡に流された日蓮や順徳上皇の旧跡を巡拝する旅が、佐渡観光の一つの大きなテーマとして定着することとなった。

大正期には「観光」ということばが定着し、千種出身の近藤福雄が、この時期から戦後にかけて佐渡を訪れる文化人を案内し、積極的に佐渡の宣伝活動を展開した。考古学に造詣が深く写真家でもあった近藤は、自ら撮影した写真をもとに佐渡の文化や観光資源の情報発信を行い、佐渡観光に大きく寄与した一人でもある。

同じく大正末期から戦前にかけて、金澤村で眼科医を営んでいた川辺時三の活動も見逃せない。川辺は荒波会を結成して佐渡おけさを全国に発信する活動を行い、佐渡の土産物の開発にも尽力した。また、景勝地としての加茂湖を新日本百景の一つに入選させた功績（昭和2年）も大きい。

④ 昭和戦前期

昭和3年は昭和天皇の即位に沸いた1年であったが、佐渡では10月18日の夷大火で町が一夜にして灰燼に帰した。佐渡の玄関口両津港の背後に位置する町であり、佐渡観光に及ぼした影響も大きかったが、官民の力で数年の間に復興を遂げた。昭和7年には、県の斡旋で佐渡商船と新潟汽船が合併し、半官半民の佐渡汽船株式会社が誕生し、その象徴としてのおけさ丸が就航した。昭和11年には、土屋六右衛門町長の悲願であった両津港北埠頭埋め立てが完了し、本格的な港湾整備が始まった。佐渡の大きな観光資源として天然記念物や名勝が注目されたのもこの時代である。現在佐渡のシンボルとなっているトキは、昭和5年に東京日日新聞（現毎日新聞）

に掲載された佐渡各地の自慢座談会記事がきっかけとなり、佐渡での生息が全国に発信され、早くも昭和9年5月に天然記念物の指定を受けた。また、昭和7年から地質学者の脇水鉄五郎による外海府海岸や小木海岸の調査が行われ、トキと同じ年の7月に名勝や天然記念物に指定された。特に外海府海岸の尖閣湾は、脇水により命名された景勝地であり、全国各地から多くの観光客が訪れ、地元で遊覧船を運航する会社が設立されるほどの賑わいをみせた。

新潟県農産物検査所両津支所（夷築地）に勤務していた植木八百吉による「観光番附」の選定も興味深い。植木は佐渡観光全般を総覧し、『佐渡米と観光番附』という冊子を刊行している。その中には「佐渡観光論」として観光案内所や博物館の設置、佐渡一周道路の整備など、戦後に実現された施策的な提言が含まれている。

戦前期には、徳富蘇峰や牧野富太郎、太宰治などの文化人や研究者が相次いで来島した。

2 両津郷土博物館に寄贈された関係資料

① 大正末期のパフレット類（東京都：戸島氏）

平成25年2月、佐渡観光協会を通じて東京都在住



（図1）佐渡旅行案内地図 大正14年

の戸島氏から大正末期のパフレット類を寄贈いただいた。大正14年に発行された佐渡の旅行地図（図1）、両津夷の旅館が発行した佐渡案内のパフレット、絵葉書10枚である。

② 昭和11年の旅行アルバム（東京都：廣瀬氏）

平成15年度に東京都在住の廣瀬氏から1冊の旅行アルバムの寄贈を受けた。これは、昭和11年7月、廣瀬氏の父親（故人）が佐渡を訪れた時のものである。綴られているのは、旅先で求めた絵はがき（図2）や絵馬な



(図2) 昭和11年当時の両津夷商店街(絵はがき)

どが中心である。ところが、佐渡観光ツアーの募集チラシや佐渡汽船の時刻表、古寺旧跡のパンフレット、宿泊した旅館の荷物札やマッチ箱などもセットで貼り込まれている。驚くことに、駅で買い求めて食べたサンドイッチの包装紙まで入っている。旅行経費がチラシに記されている以外に一筆のメモもないが、これらのモノから旅行の日程や訪れた観光地、泊まった宿など旅のようすが十分読み取れる。保存状態が極めてよく、戦前における佐渡観光の実情を伺い知る貴重な歴史資料である。

3 本資料から見える佐渡観光の様相

① 大正末期

戸島氏から寄贈いただいた大正14年発行の「佐渡旅行案内地図」には、佐渡と越後を結ぶ3航路の時刻表が掲載されている。(表1)

第一佐渡丸が直江津～沢根間を1日1往復し、小木港で夜停泊して夜更けに直江津港に向け出港しており、

(図3)「佐渡案内」掲載の島内旅館名刺広告
大正末期 野村旅館発行

(図4) 賑わう大正期の野村旅館

小木町繁華街の賑わいを思わせる。第三佐渡丸は寺泊～小木間を2日間で往復している。新潟～両津間は2隻がそれぞれ1日1往復しているが、船の性能の違いが所要時間の差に表れている。

この地図の裏面には「順徳帝御遺蹟案内」や「日蓮上人御霊場案内」と題して、佐渡における順徳上皇や日蓮上人のゆかりの地が列記されており、先に述べたとおり、この時期における佐渡の大きな観光目的がわかる。

もう一つ、「佐渡案内」というパンフレット(図3)も面白い。当時佐渡島内の主な旅館の名刺広告が名所旧跡案内と共に掲載されていることが特徴である。発行者の野村旅館(両津夷)をはじめ、大半は現存しない旅館であるが、各地で賑わった当時のようすが伺える。野村旅館は、夷5ノ丁で現在北越銀行両津支店の位置にあった。老舗旅館として賑わいを見せているスナップが残されている(図4)が、昭和3年の夷大火で焼失して旅館業を閉じた。

この頃、現在の長野県上田市にあった小学校の教員グループによる佐渡旅行の記録が残されている。交通事情や旅館のようす、必要経費と現在の物価との比較などが記載されており興味深い。

② 昭和10年代

一方、廣瀬氏から寄贈いただいたアルバムでは、東京からの観光旅行募集チラシ(図5)と佐渡汽船の時刻表

(表1)「佐渡旅行案内地図」掲載の時刻表の内容(大正14年)

船名／港名	直江津発	小木着	小木発	沢根着	沢根発	小木着	小木発	直江津着
第一佐渡丸	8:00	12:00	13:00	15:00	17:00	18:40	1:00	5:00
船名／港名	寺泊発	多田着	多田発	赤泊着	赤泊発	小木着		
第三佐渡丸	12:30	15:00	15:10	15:40	15:50	16:50		
	小木発	赤泊着	赤泊発	多田着	多田発	寺泊着		
第三佐渡丸	7:00	8:00	8:10	8:40	9:00	11:30		
船名／港名	新潟発	両津着	両津発	新潟着				
第八佐渡丸	6:30	10:30	12:00	16:00				
度津丸	15:00	18:00	8:00	11:00				



(図5) 観光旅行募集チラシ昭和11年

が特に興味深い。

募集チラシの内容は、昭和11年6月に日本旅行協会による団体募集で、7月1日に東京上野駅を出発し、新潟、佐渡、鶴岡、上山温泉を巡り、同6日に帰京する行程となっている。佐渡については2泊行程で、同2日に到着した両津港から黒木御所（泉）、本光寺（同）、妙照寺（市野沢）、尖閣湾（北狄）を巡り、相川（高田屋旅館、後の佐州ホテル）に宿泊している。翌3日は金山（下相川）、真野宮（真野）、真野御陵（同）から小木（喜八屋旅館休憩）を経て、国分寺（国分寺）、妙宣寺（竹田）から両津に戻り、本間旅館（現太陽堂両津店の位置）で2泊目、翌日新潟に渡っている。これをみると、現在の佐渡観光コースの基本が既にこの時期には確立されていることが分かる。特に、尖閣湾は国の名勝指定から2年を経ているが、新たな観光地として賑わっていた光景が思い浮かぶ。

また、佐渡汽船の時刻表（図6）は新潟～両津間のものであり、先述した大正末期の時刻表と同様に2隻がそれぞれ1往復している状況であるが、冬期間は両港で1日1便となっていたこともわかる。なお、この時刻表を見る限りでは船便ごとに所要時間の違う理由が説明できないものの、同時期（昭和7年）の「佐渡新聞」に掲載

新潟 佐渡間				
月	新 潟 港	佐 渡 港	佐 渡 港	新 潟 港
1. 2. 月	後 2.00	後 4.45	前 9.00	前 11.45
3. 4. 月	前 8.00	前 11.45	前 9.00	前 11.45
	後 2.00	後 4.45	後 1.00	後 4.45
5. 6. 月	前 10.15	後 1.00	前 9.30	前 9.15
7. 8. 月	後 5.45	後 8.30	後 2.00	後 4.45
9. 10. 月	前 8.00	前 11.45	前 9.00	前 11.45
11. 月	後 2.00	後 4.45	後 1.00	後 4.45
12. 月	後 2.00	後 4.45	前 9.00	前 11.45

(図6) 佐渡汽船時刻表 昭和11年

された時刻表では、船名（第八佐渡丸・おけさ丸）が記載されており、その性能の差であることが読み取れる。

この時期の町のようすは、昭和16年に旧制新潟高校の講演後佐渡を訪れた、太宰治の旅行記からも伺える。

〇おわりに

これまでみてきたように、佐渡は早くから恵まれた自然の風景、古社寺の文化財、流人（順徳上皇・日蓮）の旧跡等の観光資源を最大限に活用している。道路整備や島内外の交通手段の発達により、現在の佐渡観光は1泊2日が標準的な日程となっているものの、活用している資源はほぼ同じであるが、これに博物館的施設と体験型施設が見学先に加わっていることが現代の佐渡観光といえる。

わずかに残る1枚のパンフレットや、一般人の埋もれた旅行の記録などから、各時代における佐渡観光の様相を考える試みを、今後も続けていきたいと思う。

【参考文献】

- ・相川町史編纂委員会 1995 『佐渡相川の歴史』（通史編 近・現代）相川町
- ・新潟交通 20年史編纂室 1966 『新潟交通20年史』新潟交通株式会社
- ・佐渡汽船六十年のあゆみ編さん委員会 1973 『佐渡汽船六十年のあゆみ』ダイヤモンド社
- ・磯部欣三 2000 『幕末明治の佐渡日記』恒文社
- ・佐藤淳子訳編 2009 『松浦武四郎 佐渡日誌』北海道出版企画センター
- ・佐藤利夫 2007 『佐渡びとの旅 昔話』地域学習双書Ⅶ 両津地区公民館
- ・尾崎紅葉 1904 『煙霞療養』春陽堂
- ・長塚節 1915 「佐渡が島」『炭焼きの娘』春陽堂
- ・概観佐渡刊行委員会 1964 『概観佐渡』佐渡郡教育研究会・両津市教育研究会
- ・手島龍一ほか 2011 『山本五十六』（山川Mook5）山川出版社
- ・岩木 拓 1901 『佐渡名勝』佐渡新聞社
- ・両津市誌編さん委員会 1989 『両津市誌』下 両津市役所
- ・野口敏樹 2005 「相川街道（夷道）を歩く（その1）」『佐渡地域誌研究』4 佐渡地域誌研究会
- ・浅香 寛 1923 『佐渡案内 順徳天皇御遺跡案内』佐渡日報社
- ・野口敏樹ほか 2005 「佐渡の考古学と近藤福雄」『新潟考古』16 新潟県考古学会
- ・金井を創った百人編集委員会 2000 『金井を創った百人』金井町
- ・若林甫舟 1933 『両津町大火災史』両津町役場
- ・植木ハ百合 1938 『佐渡米と観光番附』
- ・塩入秀敏 2007 「大正15年の佐渡島2泊3日の旅」『観光文化研究所報』4・5 上田女子短期大学観光文化研究所

資料紹介 天保4年佐渡を襲った大津波の被害について

佐渡学センター 情報指導員 池田雄彦

はじめに

東日本大震災での未曾有の大津波による被害の大きさがまだ生々しく記憶に残っている。現在も佐渡を襲った津波に関する問い合わせが時々ある。そこで、島内で津波被害がしっかり記録されている天保4（1833）年に日本海東縁部で発生した酒田沖（庄内沖）地震（M7.7）による大津波の被害について整理してみた。佐渡も決して津波の心配のない地でないことの認識をしてもらえればと思う。

1 天保4年の地震・津波について

1-1 地震発生年月日

天保4（1833）年10月26日（新暦12月7日）
申の上刻（15時頃）※佐渡年代記

1-2 地震の大きさと震源地

平成25年度版理科年表によれば
・震央の位置 38.9° N、139.25° E
・マグニチュード（M）7 1/2

「羽前・羽後・越後・佐渡：庄内地方で特に被害が大きく、潰家475、死42、津波が本庄から新潟に至る海岸と佐渡を襲い、能登で大破流出家約345、死約100。津波の規模〔2〕（4～6m）」とあり、佐渡より遠く離れた能登地方まで大きな被害が出ている。



図1 地震の震央の位置

2 古文書に出てくる被害の状況

佐渡の場合、江戸時代の地震や津波は、佐渡奉行所役人や個人が記録した文書がいくつか残っている。これらの古文書の記録から「天保4年津波」の実態を整理してみたい。

2-1 佐渡年代記※の記述

一 十月廿六日申上刻地震強半時餘も震氣不止打續相川海邊磯際より二三町又は壹丁半程海中俄に汐干いたすに付津波可致哉と海邊町々之者共一同恐怖山寄又は地高之場所え家財雜具等持運ふ處高波數度打揚候共人家四壁裾通汐濡所々及破損迄に而怪我人は勿論潰家流失等無之山之神教壽院拜禮所御園其外陣屋御役宅御藏々銀山勝場濱手三番所等何れも少々宛破損は有之候得共各別之儀無之在方の分

田畑用水路破損 拾貳ヶ所

流失家 七拾九軒 高下 田野浦 石花

潰家 拾貳軒 関 五十浦 岩谷口

破損家貳百三拾五軒 真更川 鵜島 願

流失納屋 四拾四軒 鷺崎、吉住、羽黒

潰納屋 九拾貳軒

破損納屋 百拾九軒 加茂 夷町 湊町

潰土蔵 壹ヶ所 腰細 徳和 赤泊

流出雜穀蔵 一ヶ所 小木町 八幡町 河原田

板橋流失 貳ヶ所 鹿伏 石田 市野澤 〆貳拾四ヶ村

小船流失 四拾艘

同破損 三艘

右之通にて廿六日以後四五日之間打續時々少々宛地震いたし候處追々相止候旨并右變事に付手當方等之義十一月中水野出羽守殿え書面進達

『佐渡年代記』P403. p404 抜粋

相川での津波の様子

引き潮 二～三町（概算218m～327m）

※以下、1町=109mとして試算

【注意】津波が来るときには、その前に引き潮になるといわれているが、必ずしもそうとは限らない。海底の沈降した部分が隆起した部分よりも手前にあるときは、津波の前に引き潮になる（引き波）、逆の場合には、引き潮にならずに津波が来る（押し波）

被害

田畑用水路破損…12ヶ所

流失家…79軒

潰家…12軒

破損家…235軒

流失納屋…44軒

潰納屋…92軒

破損納屋…119軒

潰土蔵 1ヶ所 流出雑穀蔵 1ヶ所
板橋流失…2ヶ所 小船流失…40艘 同破損…3艘

出てくる地名

相川地区…高下、田野浦、石花、関、五十浦、岩谷口、鹿伏
両津地区…真更川、鶴島、願、鷺崎、吉住、羽黒、加茂、夷町、
湊町

佐和田地区…八幡、河原田、市野沢

南部…腰細、徳和、赤泊、小木町

両津湾内、外海府地域の地名が多い。

2-2 岩木文庫 佐渡国誌資料集

十月二十六日、申ノ上刻強震、殆ンド半時二亘リ、相川湾海潮一町半及至三町退キ、海中干潟ヲ生ジタレバ、下町ノ住民ハ海嘯ノ至ランコトヲ恐レ、老幼ヲ助ケ家財ヲ搬シテ高地ニ避難シ、一時ハ大恐怖ヲ来セシモ幸ニシテ其事ナク。高波数回ウチヨセタルノミ、唯海岸ノ人家ノ垣壁等ヲ浸シタル迄ナリキ、唯振動ノ激シカリシタメニ諸役所及人家共少許ノ損壊アリシ

郷村ニテノ被害地ハ三十四ヶ村ニシテ家屋流失七十九、倒潰十二、破損二百三十五、納屋流失四十四、倒潰九十二、破損百十九、土蔵倒潰一、流出一、小舟ノ流出二十、破損三ナリシト云ヘリ

爾後四、五日間時々微震アリタリ、両津ニテハ海嘯起コリ、回船ハ両津橋ト共二湖内ニ流れ込ミ、漁舟ノ米蔵ノ家屋ヘ打上ゲレシト云フ

(岩木文庫 下巻 寛永～大正 地震に関する記録)

津波の記述

・引き潮 一町半～三町 (概算 160 ～ 330 m)

被害

被害地…34ヶ村

家屋流失…79戸 家屋倒潰…12 家屋破損…235

納屋流失…44 納屋倒潰…92 納屋破損…119

土蔵倒潰…1 土蔵流出…1

小舟流出…20 小舟破損…3

資料 2-1『佐渡年代記』と資料 2-2「岩木文庫」とは、「被害地」と「田畑用水路破損」が入れ替わっている以外、他の数値はすべて一致している。

2-3 浮世囃 (佐渡郷土史料)

一、天保四巳年十月二十六日昼八ツ半時ヨリ七ツ時過至迄地震、昼七ツ半時ヨリ津波上ルと申。海辺通り大騒ぎ也。新材木町浜辺にさざい嶋と云岩根まで塩引、相川市中大変也。国中所々に大痛、海辺ハ皆々金銭米等持参いたし逃ル事に支度致居候。乍去津波上リ不申大悦ひ也。(老人子供皆々上通遠方逃去、道具類も上々迄持参家内あけ置逃ル支度也)

○地震の発生から津波がくる時間

発生時 昼八ツ半時 (およそ午後2時30分頃)

津波到達時 昼七ツ半 (およそ午後4時15分頃)

※現在のように時計がない不定時法」を採用していた時代なので、およそ1時間以上経過してから津波が到達したことになる。

○新材木町浜辺さざい嶋の岩根元まで塩 (潮) が引く



図2 佐渡海岸一図 (相川郷土博所蔵)

2-4 木透家文書の記述

「市誌余話」 中村 聡氏読み下し文

書き印し置く一礼の事

右は天保四年巳年十月二十六日朝より大雨にて九ツ頃に相成り候へば、あいたば風に相成り、八ツ刻に相成候頃東北の方より大地震入り暫く半刻にも足らざる程有りて津波来たり、是迄は知らざる初の地震にとうあく失い候処、又津波にては十方に暮れ申候処、然れ共当社津神大明神の御加護にて大難をまぬかれ、地震も一つ切りにて後には安らかに相成り候、次で津波も漸々浜通り石垣迄上り、暮六ツ時迄六、七枚も上り候故、浜辺の人家皆相仕舞候処、難無く波も静まり候、尤も初度の波には浜辺に之れ有り候猶船用心心付けず、己にあやふき候処追々に人数を招き漸々引上げ、是皆当社の御利勝にて、海上は地波も之無く、只津波計にて塩を引く事囃の中は一水も之無く候故、尚々心元無く候得共至って波上らず候、(中略)

扱又隣村羽丹生村を始め、奥村は次第に地震津波も大きく御座候、いわんや湊・夷両町の儀は大津波上り候、海方悉く皆浦小屋通り取払われ、中にも城の内海方通り人家皆散々に打潰れ、猶船も夥敷く痛み候、并に御番所のかたわらに罷り在る夷町鍵屋大船七百石積を巻上げ候ハバ、当津波に驚き、碇綱松の並木に四、五本取候処、暮六ツ時分の大津波に川の橋潟へ打落され、続て彼の大船川え打込み、是も潟へ打流れ候、又国中之義を受け候処、鰻川原田町少々痛み入れ、吉住村にも少々引流され、鷺崎にては半村も津波に打ち流され、猶又猶船残らず引流れ既に命も危く見申し候、然れ共山路逃げ延び在命仕り候、尤も此の大川辺とは格別引違い、地震も津波も前代未聞の大地震、願村にては廿五軒の家数五軒残りて廿軒は皆流されたり、外かいふにても少々宛痛み有り候、各々の村にては猶船数多流れたり、首百年以前に同様の津波上り候様承伝聞き候得共、地震如何程にて津波上り候と存ぜず程を、只今目前之通り頻敷事之無く候、地震も数度御座候へ共、当度はとうあく仕り候、当末込も

天の下に住居仕候者其用意之有るべく候、翌月辺に相成候はば異国の義は未だ相知れ申さず候、異国難儀の国も之れ有り候哉と察し入り申し候、依て津神大明神を拝奉べく候、おこたらずしんじん奉成候はば、如何成る大難も遁る可く、右是を知らせ置き末々に至る迄、其用意然る可く、依て件の如し

天保四年辛巳十月 加茂郡大川村 社人
木透与惣左衛門豊楸是を書印

出てくる地名

大川村、羽丹生村（羽二生）～湊町・夷町、城の内海岸通り、川原田町、吉住村、願村、外海府の村々
津波が襲った回数 6～7回

願村の被害 25軒中20軒が流された

2-5 掲載された被害地の位置

P3 図3

3 古文書から見られる津波とその周期

前述 2-4 の木透家文書に下記のように、100 年前以前にも同様の大津波が上がったとの記述がある。

（前略）

首百年以前に同様の大津波上り候様承伝聞き候得共、地震如何程にて津波上り候と存ぜず程を、只今目前之通り頻敷事之無く

（後略）

100 年以前に佐渡で大きく被害の出た津波は、次の二つが記録として残っている。どちらに該当するかは断定できない。

○宝暦 12 (1762) 年 9 月 15 日の津浪

※天保 4 年の 71 年前の津波

○寛保元 (1741) 年 7 月 19 日の津浪

北海道 南西沖地震

輪島まで被害が出ている

※天保 4 年の 92 年前の津波

寛保元年の津波の記録に下記の記述がある。

高波にて相川の海辺柴町、鹿伏村並に家居を越し打揚ヶ引汐一町餘もありと云、外の海府村々も同様にして、鷺崎浦目付所其外村々の家居過半打流し佐州に於いては前代未聞の事たる由、…（中略）…。此津波 123 年以前に有之候由申伝也。（佐渡年代記）

下線部分のように、123 年以前にも同様の津波があった記載されている。単純に計算すると 1618 年（元和 4 年）になる。

○1618 前後の津波（慶長～元和）

この津波については、当佐渡学センターの古文書類からは、被害の記録が見当たらない。この前後で日本海側で被害の出た津波と地震の記録としては、1614 年に越後高田に大地震があったと一部記録もある。（震源地：直江津沖）震源地が海なので津波被害が大きいことがうなずける。しかし、理科年表では、「大地震の割に資料が少なく…検討すべき事が多い」と、データが空白のままである。

◎文書から見える津波の周期

二つの古文書に出てくる 3 回の津波と 1964 年の新潟地震を含め、記録から約 100～130 年周期で大津波に襲われていたことになる。

◎最新の地質調査から見た周期

2012 年 11 月に新潟大学ト部厚志准教授が加茂湖の堆積物調査から、9000 年間に少なくとも 26 回の大津波が押し寄せた可能性があると調査結果を発表した。津波の平均間隔は 346 年、高さは 5 メートル以上となっている。地質的な見地の津波は古文書に見られる大津波に比べ、より規模の大きい津波であると考えられる。

古文書に残っている津浪の記録で一番古いものが寛保元（1741）年、今から 272 年前なので、この平均間隔に達していない。堆積物調査の一番新しい津浪が記録にある津浪と一致するものがあるのか、全く異なるのかデータを得ていないので何とも言えないが、考え方によっては、記録にある以上の津浪に襲われる可能性もあると考えられる。防災に対する警鐘と受け止める必要がある。

4 おわりに

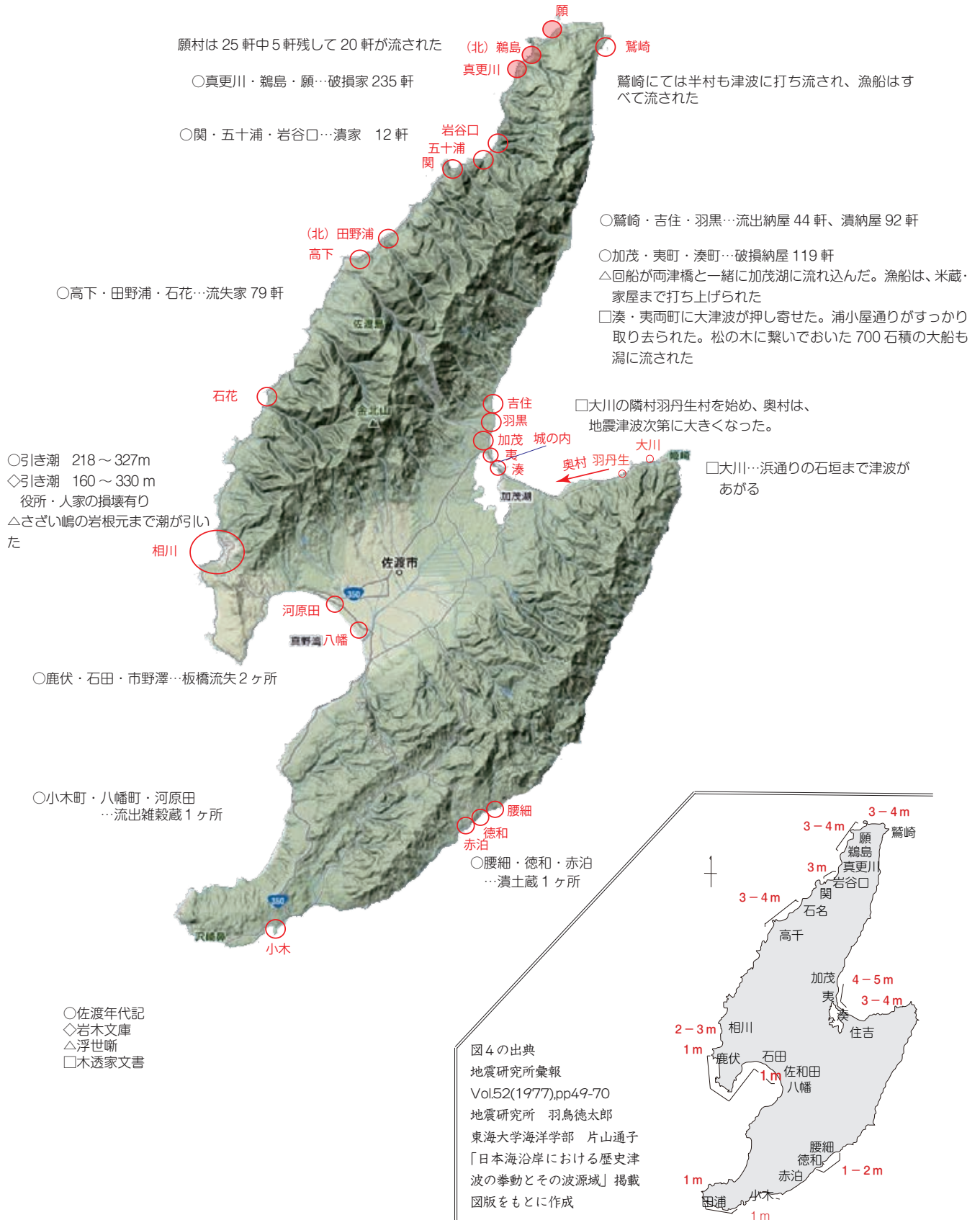
天保 4 年の地震による津波の被害は、理科年表からも分かるように、震央から遠く離れた能登半島に大きな被害を出している。その時々諸条件により被害が異なることも念頭に置いてほしい。

文献・参考資料

- ・佐渡年代記、佐渡国略記、佐渡風土記、浮世噺、
- ・佐渡志、佐渡名勝志、撮要年代記、
- ・佐渡気象災異誌、府中国一・瀬下伸二、相川測候所
- ・理科年表、東京天文台、丸善
- ・市誌余話、両津市誌の会

天保4年津波の被害地と被害の様子（図3 まとめ）

ここで大切なことは、プロットされた地域のみ津波が襲ったのではなく、記録として記載された地域である。



VII 佐渡に関する図書・論文 平成 24 (2012) 年分

学芸専門員 北見継仁

書名、雑誌名 (論文名)	著書、編者、監修者名等	版元
つれづれなるままに (私家版)	磯部欣三	斎藤武彦・斎藤純子
江戸の金山奉行 大久保長安の謎	川上隆志	現代書館
佐渡の鳥	川口孫治郎 (解説: 池田哲夫)	新潟大学 朱鷺・自然再生学研究センター
佐渡の民謡 - 唄と人と歴史 -	本間久雄・渡辺和弘	アサヒメディア
昭和の佐渡綴り (写真集)	写真・文 清水 薫	
佐渡の光陰: 千年のときを経て今なお輝く	牧山俊雄	若葉出版社
朱鷺 飛べ大空へ (改訂版)	佐渡とき保護会	佐渡とき保護会
佐渡島環境大全 (改訂版)	編集: 新潟大学佐渡市環境教育ワーキンググループ	新潟県佐渡市
トキよ羽ばたけー自然界36年ぶり ひな誕生ー	新潟日報社	新潟日報事業社
文化財探訪マップ 歴史と文化と自然の島 佐渡	佐渡市役所世界遺産推進課	佐渡市役所世界遺産推進課
逆説の日本史 別巻 ニッポン風土記 東日本編 (文庫版) (佐渡所収)	井沢元彦	小学館
50とよばれたトキー飼育員たちとの日々	小野智美	羽鳥書店
佐渡生きものかたり作品集2011	佐渡生きもの語り研究所	佐渡生きもの語り研究所
黄金の国ター甲斐の金山と越後・佐渡の金銀山 (展示図録)	山梨県立博物館	山梨県立博物館
ビジュアルで楽しむ新潟県の歴史 越後佐渡デジタルライブラリー (佐渡金山奥穴の図 所収)	新潟県立図書館・新潟県立文書館	新潟県立図書館・新潟県立文書館
週刊日本の世界遺産: & 暫定リスト The World Heritage in Japan 23 北海道・北東北の縄文遺跡群・富岡製糸工場・佐渡鉱山・国立西洋美術館本館		朝日新聞出版
漂着動物の自然誌: 新潟と佐渡の海辺から	本間義治	考古堂書店
20世紀における人形浄瑠璃の総合的研究 (大正～昭和前期の佐渡の文弥人形のあり方 所収)	細田明宏	細田明宏
集落営農: 農山村の未来を拓く (経験を重ねる集落営農 新潟県佐渡市 所収)	(松永桂子)、関光博 編	新評論
訓下本注法華経	大黒喜道 編著	佐渡日蓮研究会
動物ドクターから観たおもしろアニマルたち (文庫版)	坂田金正	文芸社
史跡佐渡金銀山遺跡保存管理計画書 第1期	佐渡市役所世界遺産推進課編	佐渡市役所世界遺産推進課
佐渡市寺院建造物悉皆調査報告書	佐渡市役所世界遺産推進課編	佐渡市役所世界遺産推進課
Ryotstu ko: の本・本州北西岸・佐渡島 (地図: 77 × 55cm)	海上保安庁	海上保安庁
佐渡本間氏祖廟 若一王子神社由緒	矢田有年	若一王子神社社務所
佐渡本間物語	山中観一	若一王子神社社務所
木喰行	須佐知行	ノンブル
「トキと暮らす島 生物多様性佐渡戦略」	佐渡市	佐渡市
佐田岬半島と西日本の裂織 (図録) (佐渡関係 所収)	愛媛県歴史文化博物館	愛媛県歴史文化博物館
承久の乱と後鳥羽院	関 幸彦	吉川弘文館
妖怪の日本地図3 中部 (佐渡関係 所収)	千葉幹夫・石井 勉	大月書店
宮本常一とあるいた昭和の日本: 19 (佐渡関係 所収)	田村善次郎・宮本千春 監修	農山漁村文化協会
『野外鳥類学論集』第28巻 (越冬期の佐渡島国仲平野におけるノリス Buteobuteo の探餌行動 所収)	中津 弘・永田尚志	
『環東アジア研究叢書:1』(近代新潟の災害と社会的結合: 長岡・佐渡の事例を通して 所収)	芳井研一	新潟大学人文社会・教育科学系附置 環東アジア研究センター
『環東アジア研究叢書:2』(近世・近代越後佐渡災害史資料: 環東アジア地域における社会的結合と災害資料編 所収)	新潟大学人文社会・教育科学系附置 環東アジア研究センター編	新潟大学人文社会・教育科学系附置 環東アジア研究センター
徳和の民俗 新潟大学民俗調査報告書第18集	新潟大学人文学部民俗学研究室	新潟大学人文学部民俗学研究室
『人文学部社会連携年報』2010年度	新潟大学人文学部附置地域文化連携センター 越佐・新潟学推進センター	

『人文学部社会連携年報』2010 年度「芸能論実習」(牛尾神社天王祭の芸能 所収)	萩 美津夫	新潟大学人文学部附置地域文化連携センター 越佐・新潟学推進センター
『人文学部社会連携年報』2010 年度「地理学実習」(佐渡市西三川笹川集落における地理学実習について 所収)	堀 健彦	新潟大学人文学部附置地域文化連携センター 越佐・新潟学推進センター
『人文学部社会連携年報』2010 年度「民俗学実習」(赤泊地区徳和関係 所収)	飯島康夫	新潟大学人文学部附置地域文化連携センター 越佐・新潟学推進センター
『人文学部社会連携年報』2010 年度「新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定調印事業 シンポジウム「世阿弥と佐渡の能楽」	萩 美津夫	新潟大学人文学部附置地域文化連携センター 越佐・新潟学推進センター
『日本の石仏』141 (名号塔の知識(9) 浄厳と佐渡の念仏塔 所収)	岡村庄造	日本石仏協会
『鑑賞』33		新潟文化財鑑賞会
『鑑賞』33 (南北朝・室町時代の佐渡と京都 所収)	田中 聡	新潟文化財鑑賞会
『鑑賞』33 (佐渡金銀山ー近代鉱山への転換)	余湖明彦	新潟文化財鑑賞会
『鑑賞』33 (万葉の痕跡を求めてー佐渡小旅行)	高杉政子	新潟文化財鑑賞会
『グリーン・エージ』第39巻第5号 (大学演習林からの便り(9) 新潟大学 日本海に浮かぶ佐渡島の演習林 所収)	崎尾 均	日本緑化センター
『公評』第49巻第5号 (追憶の街並(6) 古き良き日本の縮図 新潟県佐渡市 所収)	瀧山幸伸	
『時宗教学年報』No.40 (江戸期における遊行と佐渡 所収)	臼木悦生	
『佐渡・越後文化交流史研究』No.12 (昭和六年佐渡民俗研究会主催 第一回座談会『佐渡の話』 所収)	池田哲夫	新潟大学大学院現代社会研究科
『与謝野晶子の世界』No.4 (寛、晶子 静かな佐渡への旅 所収)	渡邊和一郎	
『大法輪』第79巻第3号 (涅槃会巡拝記(1) 佐渡国相川の「おきめぐり」『涅槃図展』 所収)	竹林史博	
『東京交通短期大学研究紀要』No.17 (佐渡の観光需要促進に関する一考察 所収)	森住正明	東京交通短期大学
『日本海域研究』No.43 (能登半島と佐渡島におけるハナバチ類の種組成と分布 所収)	笠木哲也 他	
『Niigata Interview Magazine LIFE-mag.vol.5【新潟県・佐渡編】	小林弘樹・岩崎 徹	株式会社エイチ・ケイコネクション
『月刊文化財』第591号 (近代 産業・交通・土木 旧佐渡鉱山採鉱施設 所収)	文化庁文化財部 監修	第一法規
『地質学雑誌』118-8 (新潟県佐渡島に分布する中部更新統沢根層上部の貝形虫化石群と日本海表層水の底塩分化 所収)	石田 桂、吉田和弘、松岡 篤	
『日本水産学会誌』78 (有害赤潮藻ヘテロカプサの分布域北上現象：佐渡加茂湖での赤潮によるマガキの大量死 所収)	近藤伸一、中尾令子、岩滝光儀 他	日本水産学会
『観光文化研究所所報』4-5 (大正15年の佐渡島3泊3日の旅：小学校教職員見学旅行の記録より 所収)	塩入秀敏	上田女子短期大学観光文化研究所
『えール』Vol.09 2012 秋・冬号 悠久の時を刻む佐渡の大地	佐渡市	佐渡市
『えール』別冊 悠久の時を刻む佐渡の大地	佐渡ジオパーク推進協議会	佐渡ジオパーク推進協議会
『芸術新潮』63-12 (唄めぐりの旅(7) 佐渡は居よいか住みよいか 所収)	石田 千	新潮社
「下久知郷土史編さん委員会たより」第7号	下久知郷土史編さん委員会	下久知郷土史編さん委員会
『新潟県立文書館だより』第17号 (地図・絵画がかたる越後・佐渡の歴史) (『佐渡全図』明治9年出版 所収)	新潟県立文書館	新潟県立文書館
『新潟県立文書館年報』第20号 平成23年度	新潟県立文書館	新潟県立文書館
『食農と環境』10 (佐渡の地産地消に取り組む 所収)	甲斐逸枝 実践総合農学会編	実践総合農学会
『食農と環境』10 (「朱鷺と暮らす郷」米の取り組み 所収)	大井克巳 実践総合農学会編	実践総合農学会
『食農と環境』10 (佐渡市における観光資源に対する訪問者の評価 所収)	田中裕人、上岡美保 実践総合農学会編	実践総合農学会
『食農と環境』10 (CVM を適用した入島税に関する経済評価：新潟県佐渡市を対象として 所収)	田中裕人、間々田理彦、上岡美保 実践総合農学会編	実践総合農学会
『食農と環境』10 (生物多様性の取り組みに対する佐渡市訪問者の評価 所収)	田中裕人 実践総合農学会編	実践総合農学会

『食農と環境』10 (トキどき応援団の活動が目指す地域おこし 所収)	仲川純子 実践総合農学会 編	実践総合農学会
『新潟史学』68 (2012 年度歴史地理学会第 5 回大会公開講演会 佐渡の歴史的景観と世界遺産)	堀 健彦	新潟史学会
『土地改良：大地にさぎむ農の文化』50-4 (世界農業遺産「トキと共生する佐渡の里山」における農業 所収)	渡辺竜五	
『地方議会人：未来にはばたく地方議会』43-4 (現地報告 離島振興法の改正：佐渡市の取り組み 所収)	佐渡市地域振興課	全国市議会議長会
『農村研究』114 (佐渡市における観光産業活性化に関する訪問者の意識調査 所収)	望月洋孝、田中裕人、上岡美保 他	
『農村研究』115 (佐渡市における地域活性化策に関する住民の評価 所収)	望月洋孝、田中裕人、上岡美保 他	
『日本セトロロジー研究』22 (2010 年中および 2011 年中における佐渡海峡の新潟～両津航路 (佐渡汽船) による鯨類目撃記録 所収)	本間義治、岩下雅彦	
『にいがたの現在・未来：センター月報』466 (探訪 佐渡を拠点に伝統芸能を世界に発信し、地域を創造し続ける太鼓芸能集団 鼓童 所収)	菅野敦司	
『グリーン・パワー』404 (日本の里 100 選 (第 20 回) 新潟県佐渡市 (片野尾・月布施・野浦)) 暴風も耐えカラスにあわてず 子育ての知恵を蓄えたトキ 所収)	藤原勇彦	
『東京大学農学部演習林報告』121 (放鳥直前期における住民意識：佐渡市全域のアンケート調査から 所収)	本田裕子	東京大学農学部
『真言宗豊山派総合研究院紀要』17 (佐渡八十八ヶ所霊場調査 所収)	渡辺隆正、木津祐教、小角隆幸 他	真言宗豊山派教化センター総合研究院紀要編集委員会
『日本建築学会技術報告集』18-40 (佐渡宮大工 間島家とその建築活動について 所収)	奥崎智道、藤澤彰、田東優 他	
『信濃』749 号 (新潟県地方史研究の動向 所収)	信濃史学会	信濃史学会
『立正大学大学院仏教学研究会仏教学論集』No.29 (日興門流の徳治二年法難に関する一考察 所収)	本間俊文	立正大学
『地理』57(2) (観光地の自然科学 (6) 佐渡島〈海岸地形編〉日本海に浮かぶ島の地形はどうつくられたか 所収)	小泉武栄	
『地理』57(3) (観光地の自然科学 (7) 佐渡島〈植生編〉美しい花を眺めて島の自然を考える 所収)	小泉武栄	
『日本建築学会技術報告集 18-38 (近世佐渡における藤井家建築活動と大工集団について 所収)	赤石憲祐・藤沢 彰、奥崎智道	
『教育と医学』60-1 (草のいのち、虫のいのち、人のいのち (第 6 回) 佐渡の田んぼにトキが舞い降りるまで (2) 所収)	教育と医学の会 編 中村陽子	
『教育と医学』60-2 (草のいのち、虫のいのち、人のいのち (第 7 回) 佐渡の田んぼにトキが舞い降りるまで (3) 所収)	教育と医学の会 編 中村陽子	
『健康保険』36(4) やまけんの日本まるごと食探訪 美しい干し柿たわわの地おとぎの国のような佐渡島愉しんだ! 所収)	健康保険組合連合会 編 山本譲治	
『新潟県立歴史博物館研究紀要』第 13 号 (新収蔵の佐渡金銀山関係史料について 所収)	渡部浩二	新潟県立歴史博物館
『人文科学研究』131 号 (絵巻 (絵画・浮世絵・模型等) にみる佐渡金銀山の歴史的景観 所収)	橋本博文	
『季刊しま』No.228 (「しま」の原風景 第 16 景 日本海商取引引き 所収)	佐藤利夫	財団法人日本離島センター
『トルコの世界遺産と古代遺跡』パンフレット (「トルコの遺跡と佐渡金銀山」 所収)	中島栄一	旅々会
『図書』766 号 (トキの野生復帰と「談義」の哲学 所収)	桑子敏雄	岩波書店
『すとーん・さーくる』No.78 (佐渡市の岩船地蔵について 所収)	北見継仁	新潟県石仏の会
『石仏ふぉーらむ』第 10 号 (祝勇吉氏の業績を元にした佐渡島内の石仏調査結果について 所収)	北見継仁	新潟県石仏の会
『長野県民俗の会通信』(二つの念仏寺ー弾誓派念仏道場の変遷 所収)	木下 守	長野県民俗の会
『伊能忠敬研究』第 65 号 (御国絵図御改正御用中日記 所収)	伊能忠敬研究会	伊能忠敬研究会
平成 24 年度越後国域確定 1300 年リレー講演会 リーフレット「古代・佐渡国と北東アジア」	中村隆之	新潟県教育庁文化行政課
平成 24 年度越後国域確定 1300 年リレー講演会 リーフレット「遺跡から見た古代の佐渡」	河村尚	新潟県教育庁文化行政課
『佐渡学センター』年報 第 3 号	佐渡学センター	佐渡市教育委員会
『佐渡学センター』年報 第 3 号 (刊行にあたって 所収)	佐渡学センター	佐渡市教育委員会

『佐渡学センター』年報 第3号 (I 佐渡学センター設置までの経緯 所収)	佐渡学センター	佐渡市教育委員会
『佐渡学センター』年報 第3号 (II 管理運営の状況 所収)	佐渡学センター	佐渡市教育委員会
『佐渡学センター』年報 第3号 (III 事業内容 所収)	佐渡学センター	佐渡市教育委員会
『佐渡学センター』年報 第3号 (IV関係団体 所収)	佐渡学センター	佐渡市教育委員会
『佐渡学センター』年報 第3号 (V 佐渡に関する図書・論文 平成23(2011)年分 所収)	佐渡学センター	佐渡市教育委員会
『佐渡学センター』年報 第3号 (VI 日誌抄 所収)	佐渡学センター	佐渡市教育委員会
『佐渡学センター』年報 第3号 (編集後記 所収)	佐渡学センター	佐渡市教育委員会
『佐渡金銀山だより』Vol.6	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (海外の産業遺産の専門家が佐渡金銀山を視察 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (世界遺産国際シンポジウム「金を中心とする佐渡鉱山の遺跡群」 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (佐渡金銀山絵巻調査検討会 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (相川の文化的景観ワークショップ 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (親子で歩く世界遺産 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (参加者の感想 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (世界遺産登録推進懇談会 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (史跡保存管理委員会 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (佐渡金銀山調査指導委員会 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (世界遺産連続講座 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (首都圏向け佐渡金銀山講演会 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (鶴子代官屋敷跡・荒町遺跡発掘 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (テレビ番組「世界を巡った佐渡小判 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (集録の感想 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (仲間になりませんか 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (文学碑を訪ねて④ 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (出張説明・出前授業のご案内 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
『佐渡金銀山だより』Vol.6 (平成24年度後半イベント情報 所収)	新潟県・佐渡市	新潟県・佐渡市
トキめきぶれす佐渡 No.5 カキヤチ越えと石坂越え	佐藤利夫	新潟日報社佐渡支局
トキめきぶれす佐渡 No.6 大間港と服部長七	佐藤利夫	新潟日報社佐渡支局
『佐渡郷土文化』No.128	山本修己	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128 (山本半蔵の蔵石目録「石器番号扣帳」から佐渡の石器・土器の収集家たち 所収)	関 雅之	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128 (山本半右衛門家の角筆文献について(二) 所収)	鈴木 恵	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128 (佐渡国独立の夢 所収)	山本修己	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128 (「秋田氏伝記」に祖父母・秋田藤十郎を偲ぶ 所収)	秋元美智子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128 (羽茂小泊の岡崎張道家について その一我が家あれこれ 所収)	岡崎 實	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128 (悪霊 北一輝異聞(連載小説 第9回)第一部 逆光の風 所収)	中川芳郎	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128(佐越航海史要・拾遺(七)佐渡銀行事件 所収)	風間 進	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128 (盧元坊五十年忌追善集『黄鵬塚』解題(二)安永元年十一月松堂追善『松の花』との関連について-付、書誌 所収)	大野温子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128 (晩秋の奈良-十一月二日~五日- 所収)	山本修己	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128 (父をたどるの記(最終回)-大亦観風さんのこと- 所収)	藤川 滋	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128 (〈紀行〉お盆に羽茂と真野の茅葺き能舞台を訪れて 所収)	高野 進	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128 (各地の俳句・短歌会 所収)	佐渡郷土文化の会	
『佐渡郷土文化』No.128 (「相川暴動資料集」について 所収)	山本修己	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128 (俳句鑑賞 所収)	佐戸律子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128 (真野新町池田屋書店池田アイさん逝く 所収)	山本修己	佐渡郷土文化の会

『佐渡郷土文化』No.128 (カットのことば 所収)	長嶋陽二	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.128 (編集後記 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (ジェームス・スコットの妻 柿村トメ 歴史の表に出てこないひとびとの記録 (一) 所収)	柳平則子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (外海府の古い民謡－山本修之助「録音 外海府民謡集」－ 所収)	上山新二	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (〈史料〉外海府日記－昭和三十四年八月三十日～九月一日－ 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (俳書『あらうみ集』 解題 所収)	大野温子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (俳書『阿良宇美』 翻刻 所収)	田中倫子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (悪霊 北一輝異聞 (連載小説第十回) 第一部逆光の風 所収)	中川芳郎	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (桜の奈良・京都・大阪－四月十三日～十五日－ 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (〈佐渡産業功労者〉伝記 所収)	山本修之助	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (「俳人・画家安達いくやの世界」展－佐渡博物館 新春特別展 (1月1日～二月二十九日 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (酒井友二氏への弔辞 所収)	福島徹夫	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (『佐渡郷土文化』執筆索引 一〇一～二八号まで 所収)	菊池ヒロ子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (各地の俳句・短歌会 所収)	佐渡郷土文化の会	
『佐渡郷土文化』No.129 (佐渡の俳書 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (俳句鑑賞 所収)	阿戸敏明	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (カットのことば 所収)	長嶋陽二	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.129 (編集後記 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (中世後半期における在地土豪層の成立と変質 所収)	山本 仁	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (金沢清左衛門の羅針盤と静野与右衛門の羅針盤 所収)	堀口俊二	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (相川 石井夏海『貼交帳』資料紹介－北斎画 朱楽菅江死絵 所収)	小林ふみ子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (〈講演資料〉佐渡出身の蘭医 司馬凌海－日本最初の『独和辞典』・西洋薬学解説書『七新薬』刊行・日本最初の病理解剖 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (悪霊 北一輝異聞 (連載小説第十一回 第一部 逆光の風 所収)	中川芳郎	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (佐渡における明治期の「アサヒビール」販売 所収)	高岸一博	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (佐渡市長江出身 文芸評論家矢崎弾について 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (山本修巳句集『花麝香』 所収)	中村奈津子	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (スカイツリー－関東真野人会三十周年 六月十七日 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (〈資料〉「佐渡叢書」だより 第一号 所収)	山本修之助	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (〈資料〉「佐渡叢書」だより 第二号 所収)	山本修之助	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (続・拙栄堂軒過録 (来訪者人名録) (十五)－私の家を訪ねられた人びと－ 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (ふるまち良寛てまり庵と二つの碑 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (倉田藤五郎氏を悼む 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (各地の俳句・短歌会 所収)		佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (俳句鑑賞 所収)	小笠原和男	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (明治時代の山本藤九郎家・山本藤左衛門・山本藤右衛門家 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (北一輝・吟吉先生慰霊祭 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (表紙説明 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (カットのことば 所収)	長嶋陽二	佐渡郷土文化の会
『佐渡郷土文化』No.130 (編集後記 所収)	山本修巳	佐渡郷土文化の会
『佐渡地域誌研究 第10号』	佐渡地域誌研究会	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第10号』((特別寄稿) ジオパークを楽しむ 所収)	渡辺剛忠	佐渡地域誌研究会

『佐渡地域誌研究 第10号』（相川町金銀山ロードの住人たち（後編）所収）	小林祐玄	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第10号』（相川風評譚 坂の町・相川 ～石段と坂～ 10話（後編）所収）	古藤宗雄	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第10号』（新潟県指定有形文化財「大般若経」とその伝来について 所収）	北見継仁	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第10号』（舞い降りた大きな夕鶴は如何にして飛び立ったか 旧高千村（入川・北立島）海岸英国軍送機 不時着・離陸の記 その2～ 所収）	仲田善夫	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第10号』（佐渡教会をめぐる人びと - 佐渡プロテスタント伝道の百年 - （その九） 所収）	渡部信吾	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第10号』（日蓮船出の地 真浦の津 ～霊蹟を守り続けて～ 所収）	永井 学	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第10号』（佐渡が目指すジオパークとは 所収）	宇治美德	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第10号』（トキの島から（佐渡の「総合的な学習の時間」 佐渡学として 佐渡に学び、佐渡を愛し、佐渡に生きる 所収）	佐渡市立沢根小学校	佐渡地域誌研究会
『佐渡地域誌研究 第10号』（海部地区ガイドボランティア活動 所収）	佐渡市立内海府中学校	佐渡地域誌研究会
『市報さど』1月号（「佐渡金銀山絵巻をひもとく（6）－坑道を測る－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』1月号（「ジオパーク推進日記⑨」日本海のはじまりは…？ 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』2月号（「片辺・鹿野浦海岸石切場跡」が国史跡に指定されました－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』2月号（「ジオパーク推進日記⑩え！？見立で見たって！？－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』3月号（「イタリアの文化財専門家・佐渡鉱山の遺産群を視察－日・伊文化財保護協力事業」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』3月号（「ジオパーク推進日記⑪市民講座、無事修了式を迎えました－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』4月号（「－世界遺産国際シンポジウム開催－海外の専門家が構成資産を視察－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』4月号（「ジオパーク推進日記⑫さあ、ジオパークをはじめよう！－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』5月号（「佐渡金山絵巻をひもとく（7）－鑿と鍛冶小屋－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』5月号（「ジオパーク推進日記⑬市民講座の受講生が糸魚川ジオパークを見学！－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』6月号（「佐渡金銀山絵巻をひもとく（8）－鑛と鍛冶小屋－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』6月号（ジオパーク推進日記⑭「市民講座の受講生が、糸魚川ジオパークを見学！－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』7月号（「佐渡金銀山絵巻をひもとく（9）－荷分の手順－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』7月号（ジオパーク推進日記⑮「夏休みに行きたい！ジオおすすめスポット☆－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』8月号（「佐渡金銀山絵巻をひもとく（10）－四ツ留番所－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』8月号（ジオパーク推進日記⑯「世界に広がるジオパーク」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』9月号（「佐渡金銀山絵巻をひもとく（11）－町の様子－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』9月号（ジオパーク推進日記⑰「☆江っ！？水の歴史って？（国中編） 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』10月号（「佐渡金銀山絵巻をひもとく（12）－粉成（こなし）－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』10月号（ジオパーク推進日記⑱「砂金の江と田んぼの江（西三川編） 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』11月号（「佐渡金銀山絵巻をひもとく（13）－ねこ流し－」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』11月号（「ジオパーク推進日記⑲金北山は死火山なの？」 所収）	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係

『市報さど』12月号(「旧佐渡鉱山採鉱施設が重要文化財に 世界遺産登録へ大きな弾み」 所収)	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『市報さど』12月号(「ジオパーク推進日記㊹ブリとジオのいい関係」 所収)	佐渡市役所 総務課広報広聴係	佐渡市役所 総務課広報広聴係
『佐渡学センターだより』第5号「おもしろい」「なぜだろう」「調べよう」—おうい「好奇心」どこへ行った— 所収)	本間俊一郎	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第5号(佐渡の自然紹介 すばらしいブナ林の景観 所収)	池田雄彦	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第5号(新穂歴史民俗資料館の紹介 所収)	須藤洋行	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第5号(事業報告 シンポジウム 佐渡の民俗文化—語り・芸能・祈り— 所収)	野口敏樹	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第5号(文化財散歩道 資料紹介「佐渡—国念仏の記録」 所収)	野口敏樹	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第5号(寄託資料紹介 間口家資料 柴田収蔵「真蹟円形世界地図」 所収)	滝川邦彦	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第5号(ご報告とご案内、寄贈資料紹介(滝川邦彦)、編集後記(池田雄彦))		佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第6号(巻頭言 変化への対応 所収)	渡辺剛忠	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第6号(佐渡の自然紹介 大切にしたい天然杉群 所収)	池田雄彦	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第6号(海運資料館(小木) 所収)	須藤洋行	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第6号(資料紹介 北條家医学関係資料 所収)	北見継仁	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第6号(文化財散歩道 「加茂湖八景」 所収)	野口敏樹	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第6号(企画展のご案内 所収)		佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第6号(掲示板 所収)		佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第6号(小木宿根木共通入館券のご紹介 所収)	須藤洋行	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第6号(編集後記 所収)	池田雄彦	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第7号(巻頭言 資料の大切さを自覚して 所収)	本間俊一郎	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第7号(写真だより 県の天然記念物「乙羽池の浮島及び植物群落」 所収)	池田雄彦	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第7号(史跡佐渡奉行所跡紹介 所収)	山口忠明	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第7号(事業報告 新潟大学人文学部・佐渡市教育委員会連携協定 シンポジウム 所収)	野口俊樹	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第7号(佐渡学の散歩道 「北沢の選鉱製錬施設群」 所収)	滝川邦彦	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第7号(佐渡学の話題提供「琴浦の横井戸」 所収)	佐渡高等職業訓練校 講師 小澤三四郎	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第7号(掲示板 所収)		佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第7号(佐渡植物園「大文字草展」報告 所収)	須藤洋行	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『佐渡学センターだより』第7号(編集後記 所収)	池田雄彦	佐渡市教育委員会社会教育課 佐渡学センター
『島の新聞』第67号	島の新聞社(長野雅子)	島の新聞社
『島の新聞』第68号	島の新聞社(長野雅子)	島の新聞社
『島の新聞』第69号	島の新聞社(長野雅子)	島の新聞社
『島の新聞』第70号	島の新聞社(長野雅子)	島の新聞社
『島の新聞』第71号	島の新聞社(長野雅子)	島の新聞社
『島の新聞』第72号	島の新聞社(長野雅子)	島の新聞社

『島の新聞』第73号	島の新聞社（長野雅子）	島の新聞社
『島の新聞』第74号	島の新聞社（長野雅子）	島の新聞社
『島の新聞』第75号	島の新聞社（長野雅子）	島の新聞社
『島の新聞』第76号	島の新聞社（長野雅子）	島の新聞社
『島の新聞』第77号	島の新聞社（長野雅子）	島の新聞社
『島の新聞』第78号	島の新聞社（長野雅子）	島の新聞社

編集後記

佐渡学センター年報第4号を無事発刊できますことに、関係者のみなさまに感謝申し上げます。

平成24年度は、佐渡学センターおよび市立博物館の核施設となる両津郷土博物館において、3つの企画展を開催しました。そして、近年最大の入館者数となりました。「佐渡市所蔵お宝展」では、来館者から、「お宝展に2回目なんです。来年もぜひ続きをやってください。楽しみにしています。友だちにも、絵はがきで紹介したんですよ」とうれしい声が聞けました。このように、これまでになく博物館事業の充実に重点をおくことができました。やはり博物館に人を呼び込むには、企画展や常設展示の展示替え等により、より魅力ある内容にすることが大切であることを再認識させられました。

また、東日本大震災後に発生した福島県の原因事故の影響がまだ続き、昨年度に引き続き佐渡を修学旅行のコースにした小学校が多く、体験活動が可能な佐渡学センター所管の博物館・資料館が賑わったことも特筆すべきことでした。

なお、この号より、所員が問い合わせ等でまとめた資料を紹介する「所員による業務上の調査・研究報告」を掲載しました。佐渡学の基礎となる資料として、今後も蓄積していくことが大切と思っております。

(池田雄彦)

佐渡学センター年報 第4号 (平成24年度版)

- 発行日 平成25年3月31日
- 編集・発行 佐渡学センター
〒952-0021
新潟県佐渡市秋津1596 両津郷土博物館内
TEL 0259-23-2100
- 電子出版 佐渡学センター

<http://www.sadocity.niiigata.jp/sadobunka/denbun/>

- 非売品
-